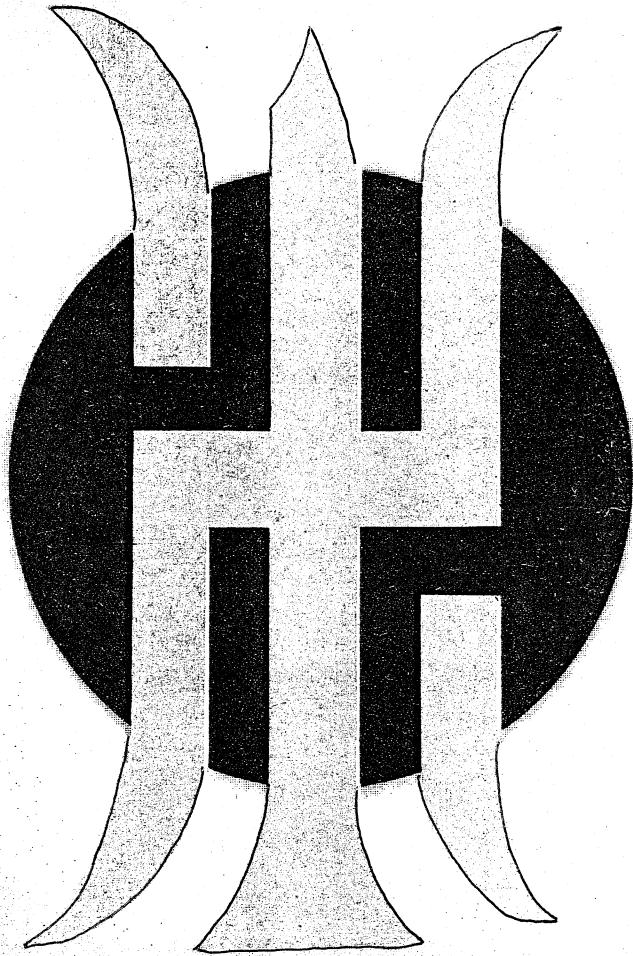


N.S.R.  
機關雜誌

# 水泳



N. S. R.

# 水 泳

No. 57

— 1938, 7. —

## 目 次

第一回團體長距離競泳全國大會……………	日本水上競技聯盟……………	( 2 )
指導者研究會の意義……………	能 崎 文 雄……………	( 3 )
國民皆泳と小學校水泳……………	左 近 充 正 矩……………	( 4 )
國民心身鍛練運動に就て……………	厚生省 體力局……………	( 5 )
濱名灣横斷遠泳所見……………	井 筒 雄 之 助……………	( 5 )
千葉高女生の飛込練習……………	篠 塚 積……………	( 10 )
プランによる月經週期の人工的移動實驗…	八木 日出雄……………	( 11 )
第十二回早慶對抗水上競技大會……………	N. S. R 編輯部……………	( 16 )
早稻田を叱る……………	白 山 源 三 郎……………	( 19 )
早慶水球戰を觀る……………	三 輪 達 郎……………	( 20 )
早慶戰の飛込を觀て……………	生 江 哲 太 郎……………	( 22 )
立、日、明三大學對抗水上競技大會……………	N. S. R 編輯部……………	( 24 )
戰の跡を顧みて		
早慶戰の感想……………	小 池 禮 三……………	( 28 )
三大學對抗水上競技大會に優勝して……………	葉 室 鐵 夫……………	( 28 )
日本大學水泳部練習記……………	村 上 勝 芳……………	( 30 )
新人群初陣感想記……………	松 田 芳 郎 外……………	( 32 )
聯盟議事録、聯盟日誌……………		( 35 )
編輯後記……………		( 36 )

## 昭和十三年競技日程

(太字は本聯盟主催)

五月下旬より	關東學生水球リーグ戦	(神 宮)
六月五日	早慶對抗水上競技大會	(神 宮)
六月十二日	立日明三大學對抗水上競技大會	(神 宮)
七月卅一日	東部中等水上競技大會 兼日本中等水上競技大會豫選會	(神 宮)
七月卅、卅一日	西部中等水上競技大會 兼日本中等競技大會豫選會	(甲子園)
八月二、三日(夜間)	女子中等學校水上競技大會 兼日本女子中等學校水上競技大會豫選會	(神 宮)
八月六、七日(晝間)	關東選手權水球飛込競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會	(神 宮)
八月六、七日(夜間)	日本中等學校水上競技大會	(神 宮)
八月十日(夜間)	關東選手權水上競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會	(神 宮)
八月上旬	各地方選手權水上競技大會 兼日本選手權水上競技大會豫選會	
八月前半中	各地方女子中等學校水上競技大會 兼日本女子中等學校水上競技大會豫選會	
八月十九、廿、廿一日	<b>日本選手權水上競技大會</b>	(甲子園)
八月廿一日	全國師範學校選手權水上競技大會	(東京高師)
八月廿六、廿七日(夜間)	<b>全國實業團選手權水上競技大會</b>	(神 宮)
八月廿七、廿八日	<b>日本女子中等學校水上競技大會</b> 一般女子水上競技大會	(振 浦)
八月	<b>全國小學校教員水上競技大會</b>	(神 宮)
九月上旬	東京小學校水上競技大會	(神 宮)
九月九日(夜) 十、十一日(晝)	關東學生水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會豫選會	(神 宮)
九月	東海學生選手權水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會東海豫選會	(振 浦)
九月	關西學生選手權水上競技大會 兼日本學生選手權水上競技大會豫選會	(甲子園)
九月十七、十八日	日本學生選手權水上競技大會	(神 宮)
九月下旬	關東學生水球トーナメント	(神 宮)

# 第一回團體長距離競泳全國大會

主催—日本水上競技聯盟

援 援—厚生省・海軍省・静岡縣・熱海市

本聯盟が常に水上競技の發達に心を致すと同時に國民皆泳を目標として我國水泳普及に力を竭し、その成績も大に向上しつゝあるは欣快とするものなり。更に國家非常の秋に際會し、國民精神總動員せられつゝある折柄、本聯盟は一層その全機能を擧げて體力向上を分擔し精神作興の目的を果すべく努力せるは勿論の事なるも、茲にその効果を倍蓰せんが爲に厚生省、海軍省、静岡縣、熱海市の絶大なる御後援を得て、新に本大會を開催し、その團體競技たる特殊性と、海洋泳破の豪壯性を充分發揮し得る如く慎重に準備して所期の成果を收めんとす。

此際奮つて技を練り第一回参加の名譽を保有せられ、併而水上日本の眞價を展示されん事を切望して熄ます。

昭和 13 年 7 月

## 要 項

期 日 昭和 13 年 8 月 7 日 (日曜)

場 所 静岡縣熱海市、伊豆初島間の海上 10 軒

主 催 日本水上競技聯盟

後 援 厚生省、海軍省、静岡縣、熱海市

要 領 4 名の泳者及 1 名の指揮者より成る 5 名の男子「チーム」が初島側より一齊合圖に依り出發し、途中指揮者は審判員の同乗せる船上より自己の「チーム」を誘導して一定限界内の任意水路を任意の泳法に依り、4 泳者を常に直徑 30 米の圏内に在る如く保ちつゝ泳がしめ熱海海岸の決勝線に入りたるその「チーム」の最後泳者の到着を以て順位を判定し同時に計時す、尙詳細なる競技規定例ば出發、標識、途中審判、失格判定、指揮、幫助、規定等は「チーム」出場申込みと共に送付す、現地に則して指示するを便とする者は熱海集合の上之を發表す

参加資格 (1) 本聯盟加盟團體の推薦せる「チーム」にして「チーム」出場申込みの先着順に依り四十「チーム」迄参加せしむ、申込み超過の場合は主催者に於て銓衡の上許可せるもののみ参加資格を附與す、但し此の場合に於ては遠隔の地より申込みたるものに優先的資格を認むるものとす。

(2) 出場泳者の資格は主催者側の撰定せる醫師に依り、申込みと共に提出せる健康診断書を調査の上更に現地に於て 8 月 6 日午後 2 時より全員健康診断を実施して出場泳者の最後決定をなし (同日午後 6 時發表) 之が許可せられたるもののみ出場せしむるものとす、從つて診断の結果に依りては「チーム」の出場を

取消し或は指揮者及補缺を含む該「チーム」名簿中の他の参加申込者に交代を命ずることあるべし。

チーム 1「チーム」は 5 名の男子を以て編成し内 4 名を泳者とし 1 名を指揮者として明記し競技中交代を許さず、指揮者用乗船は 1「チーム」1 艘の割にて舟夫を附し主催者に於て之を準備す

申 込 所定の申込用紙を用ふる事

場 所 東京市麴町區丸ビル 581 區

日本水上競技聯盟宛

期 日 (1) 7 月 25 日迄に加盟團體の推薦狀を添へ「チーム」出場申込みをなすべし

(2) 8 月 1 日迄に「チーム」の分擔を明記し加盟團體の推薦並に醫師の健康診断證明等所定事項記入の上出場者名簿を提出すべし。「チーム」出場申込みと同時に提出するも可なり

1「チーム」につき金參圓を添ふる事

表 彰 (1)「コース」の一定地點合格通過せる参加者全員に記念参加章を贈る

(2) 決勝線に到着合格せる「チーム」全員に對し全泳賞狀を授與す

(3) 第 5 位迄の入賞「チーム」者に對しては特別賞牌を授與す

到 着 参加「チーム」は 8 月 5 日午後 5 時夕刻迄に熱海市に到着の上競技會事務所にその旨届出づべしそれより以前に到着して水路の研究、練習をなすを妨げず  
競技會前日早朝より競技當日の潮汐を考慮の上現地指示を行ふにつき、少くも指揮者は之に出席すべし

宿 泊 旅館の選擇に關しては参加「チーム」の隨意とするも必要ある場合には競技大會事務所に於て斡旋の用意あり

主催者は宿泊費補助として宿泊費の如何に拘らず熱海に滞在せる場合に限り 1 人 1 泊 1 圓 50 錢の計算にて 3 泊まで 1「チーム」5 名分を支給す。

(尙 1 日 1 名金 3 圓標準にて通常の宿泊をなすことを得)

事務所 競技大會事務所を 8 月 5 日より下記に開設す 熱海海岸通り 大月館

(注意)一本競技コースは危険に非るも容易なりとは斷ず可らざるに付参加者は充分練習し置く要ありと信ず。

# 指導者研究會の意義

厚生省體力局體育課 能 崎 文 雄

水泳指導研究會を開催し度いと云ふお話が松澤さんからあつて、我々としても、至極賛成、誠に、有意義な、結構な、企てであるので、極力御協力する事になつた。表面は、研究會であるが内容は水泳學校或は水泳指導者養成所とでも云ふべきもので當然生るべき性質のものである。

五月の開講以來毎週四回一回四時間宛で、此の間、講義を主として來たのであるが、六月一杯で講義の部を終ることになつて居る。七月よりは所謂、實習期間には入ることになる。

振り返つて、研究生は眞面目だし、講義は、聯盟の智能をすぐつた、充實したもので誠に價值多きものであつたと思ふ。

編輯者のお求めにより、感じたことの幾分を申し上げることにする。

水泳が、體育的に、最も價值高き、理想的な運動方法である事は、今更云ふ迄もないことである。

而も、應用能力の點に至つても、優れた機能をもつてゐることは、平時に於て護身用として役立つ丈でなく、現に支那事變に於て數多く實證されつゝあるところに依つて見るも明らかである。

或は、凍らんばかりのクリークに身を投じて銃火をくぐつて進撃し、水底を潜つて偵察又は架橋に従事する等、今事變は幾多の實例を提供してゐるのである。

我々は、古き傳統を有する我が國の水泳、我が國民性と國土とに合致した日本水泳が祖國の水を乗り越えて國際の彼方に重大な試練を受けつゝある事を強く認識しなければならぬ。

さきに二回の世界制覇を成し遂げた日本水泳は更に新たなる洗禮を受けつゝあるのである。

鍛えられつゝある日本水泳、我々はそこに重要意義を認める。

速度、耐久力及應用能力、此の三要素を團結心をもつて打ち固めた水泳こそ眞に強力な水泳であると云はねばならない、その水泳が今こそ生れつゝあるのだ。

來るべきオリンピックに我々は何を以て世界に誇らんとするものであらうか。

此の負けず嫌ひの日本國民を前にして、此の眞の強力な水泳こそ選ばれた戰士ではないか。

水泳指導に當るものゝ任務の重大さを茲に痛感しなければならぬ。

普及させることは大事である。國民皆泳を目指すことは非常に結構なことであり、是非そうしなければならぬ。

獨逸が小學校卒業迄に八割は泳がせ様と云ふなら我々は八割と云はず、全部をと云ひ度いのである。

それには、今第一に必要なのは指導者を作ることである事も疑ない。

物的施設は勿論であるが、先づ第一に、指導者にあることと思ふ。

併し乍ら、その指導者たる者は水泳を如何に導かねばならぬであらうか。

科學的に且經驗的に、之れは勿論の事である。殊に科學的に扱ふ事は重要である併し、その爲めに經驗的な態度を捨てゝはならない。

併し、之れ丈けでよいものであらうか。我々は、各人の立場に於て更に視野を擴げねばならない。

國家の現状、國民體力の現状、更に、日本水泳の現状、之等諸々の状態を先づ正視してかゝらなければならぬと思ふのである。指導研究生諸君は非常に眞摯で、研究的である。私の云ふ事も分つて頂けると思ふのである、訓導諸氏が大部分である。多勢の、未來の國民の指導に當られる諸君に對し我々の期待は大きい。

中には國民高等學校にて指導せらるゝ人もあるのであるが、特殊目的の下に訓練される生徒達に水泳の單なる技術丈けで指導は全しとは考へられぬのである、商業に従事する人もあるのであるが庶民階級に接する立場に於てその使命は大きいものである。

帝大その他の學生諸君が當初加はつて居られたのであるが途中より都合で参加出來なくなつたのは現状では止むを得まいが惜しい事である。我々は諸君の將來性を思つてひそかに期待してゐたのであつたが、今後斯る機會には諸君の参加が出来る様になる事を楽しみにし度い。

# 國民皆泳と小學校水泳

東京市杉並第三尋常小學校 左 近 允 正 矩



國家の興隆と國民精神の關係如何、といふ因果的關係を「國家と水泳」、「國民と水泳」といふ問題に誘引して考へた場合、水泳の普及が民族發展の上に大きな要素を持ち得る大衆的スポーツである事を痛感する。

現に我國の如く國民體位の低下が國策線の粗上に迄論議せられて居る今日、この憂ふべき現實に對して、當面の關係者は何を企畫しつゝあるか、勿論體位向上の具現的方策にあることは論を俟たない。

斯く、國民の體位に一大再検討を加ふべき國家狀勢にある時、果して水泳の問題に關して體育統轄の任にある關係者が如何に理解と誠意を持つて居るかを杞憂せざるを得ない。

今、假りに文部、厚生の大臣に、水泳に大なる關心をもたれる權威者が、其の任につかれて水泳普及の實を徹底的に鼓舞され得た場合、來るべき將來に於ける青年の心身の發達に如何なる影響を及ぼすかは興味ある課題ではなからうか。非常時局を背負つて立つべき人物に斯の如き識者を要求するのは現在日本の國民的願望であると言つても過言ではなからう。

即ち水泳が國民的運動として、又大衆的スポーツとして、推奨される事實は今更誇張した、架空的理念に依る論述ではない事も是認し得ると考へるのである。

國民皆泳の大旗を翳してオリンピックに再度の制覇を捷ち得た水泳日本は、今や内外共に名實を具備して、最近に於ける水泳の普及には躍進めざましいものがあると言へよう。

然し一方前述の如き水泳による民族精神建設と言つた、根源的立場を考察した時、果して其の徹底度に満足し得るであらうか。而して此の責は何處に歸せしむべきかも同時に検討の餘地を多分に残してゐると思ふ。

即ち國民皆泳が時代の流行語に錯綜して徒らに机上の空論としてのみ云々さるべき時勢ではない。國家百年の計に、國民皆泳の大旗を先導して、今からでも其の明朗、活潑なる行進を起すべきである。

此處に眼をドイツに轉じて、歐洲大戰の敗戦後

十幾星霜の隱忍の結果、往時の如き繁榮

に迄到達したドイツ帝國に驚異と禮賛を感じないわけには行かない。少くとも國家が或る全國民的活動を指示して其の効果を期待せんか、十年の歳月を必要とするであらう。大震災に致命的打撃を受けた東京市が復興的の設立後大半の復活を見たのはやはり十年後であつた實例を参考にしたい。

即ち緻密にして周到なる計畫と實行力とによつて國民皆泳運動の如き大事業も必ずや普及の實績をあげ得る事を確信するものである。

私は微力ながら小學校水泳指導に携つて居る關係から、次の様な見地に立つて愚見を一束して見よう。

過去に於ける小學校水泳に對する世間一般の認識を顧みる時、一言にして實に幼稚にして無關心な、非科學的な、見識による指導であつたと思ふ。

泳ぐ事を自然の中に習得し即ち自己流の泳法によつて大體泳ぎ得ることに満足して現在に及んで居る人々が如何に多い事か、而かも全然水泳不可能な人も其の率の非常に多い事實を發見する時、今後に於ける小學校水泳の重要性を益々感するのである。

春光を浴びて日一日と成育する若芽の如く兒童の全機能は躍動して居る。此の大事な時期に彼等の心核深く水泳の價値と其の必要性を會得せしめ、基礎的陶冶に留意し、充分なる練磨と指導を與へて置く事が最も肝要な事である。

現今小學校水泳が他の運動に先行して心強い動きを見せつゝある事は、水上競技聯盟の絶大なる後援に基くもので、東京市小學校の競技會開催と言ひ、指導者の講習會と言ひ、其他國民全般の普及事業と相俟つて常に兒童水泳に着眼されて居る事は、體育直接の統轄の任にある關係者に猛省を促す絶好の模範的盡力と言はねばなるまい。

然し水上競技聯盟が國際的水泳競技團體であると考へる時、今後に於ける文部、厚生兩省の活動こそ大いに鶴首して待つべきであり、私達も期待して止

まない次第である。文部省が先年學校體操の基準を示した中に、「水泳は土地の状況に依り言々」と定めて居るが如きは、水泳に對する當事者の態度としては實になげかはいし限りで、此の邊にも大いに反省さるべき點が残されて居る。

斯く小學校水泳の重要性を強調すると同時に、一步後退して多角的に現在の實狀を眺めた時、其處には幾多の改正さるべき諸點を列擧するに暇がない。次に列記して御高評を願ふ次第である。

- (1) 現今の師範學校の體育科に於て水泳に關する指導を重視し、第二國民黨陶に當つて先づ教師自身確固たる指導精神を樹立すべきこと。
- (2) 標準的泳法の理解と體驗により、渾沌たる水泳觀を

一掃すべきこと。

- (3) 水泳指導即教育的教授なりとの觀點に立ち、精神的方面の水泳の價値をはつきりと把握して、常に兒童に對して眞摯たるべきこと。
- (4) 學校全兒童に對して少くとも、一定の距離は泳ぎ得る能力を得せしむること。
- (5) 競泳一方主義に囚はれることなく、飽く迄も學校水泳の目標に邁進すること。

其他細部にわたつて論議すべき點も多いのであるが、以上根本的な要項を擧げた次第である。

是を要するに國民皆泳運動の實効は小學校に於ける弛まざる努力によつて近き將來に日本國民スポーツとして實踐され、前述の如き大理想に到達し得ると確信して止まない。以上

八月一日より二十日迄、實施せらるゝ國民心身鍛練運動に就き、厚生省體力局より、六月二十八日道府縣知事宛下記要項に依り、國民皆泳を目指す水泳奨勵の通牒が發せられた。

一、青少年には可成泳げぬ者無からしむる様、特に指導奨勵すること。

一、熟練者には遠泳操槽等を奨勵すること。

一、海、河川、湖沼にありては、其の土地の情況により、周到なる注意をなし、危険防止に努むると共に、水泳池の消毒及掃除に努むること。

此の實施に當つては、海、河川、湖沼等を利用し、水泳施設の擴充を圖ると共に、公私の施設に係る水泳池等を積極的に利用せしむる様強調せられてゐる。尙、同時に文部省よりも同趣旨の通牒が出た。

厚生省 體力局

## 濱名灣横斷遠泳所見

〔寄稿〕 井筒雄之助

(註) 新潟にあつて地方水泳普及發達のため盡力せられてゐる井筒氏の事は讀者諸兄姉も先年日大プールに於て世界滯水記録を目指して奮闘され獨自の原野へ突進された事をよく承知の事と思ひます。今回表題の如き御意見を森秀臣氏を通じて寄稿されました。

### 序

昨秋森秀臣先生にお逢ひした節——先日水聯の總會?の席上にも一寸話があつたが遠泳施行に對し君の意見を開陳してみたらどうか(大體こんな風に私は記憶しております)——とのお話があつた。私は早速承知致し、出來上つたら先生の手を通じて水聯へ提出する様お約束申上げた。

時! 戰雲愈々擴大、我が友續々應召下令に接し聖

戰に馳せ參するの報に接し私も直ちに郷里に戻りある奉仕の爲め及ばず乍ら活躍してゐたので精神的にも肉體的にも非常に多忙な日時を送り遂に筆を採る暇なき儘思ひ乍らも延引してゐた次第、そんな次第で森先生へも更らに音沙汰なく過しており、最近漸く上京して來たのでお面會の上事の次第を申上げたところ、では改めて書いてみたらとの仰せ而かも——遠慮なく君の思ふことをと付け加へられたのに一層力を得てこの一文を綴つてみた。

然し遠泳に關する私の意見乃至所見等といふ題下になつては、それこそ尨大になつて仕舞ふ恐れがあり又過去 20 年間 (16 歳より) 遠泳専門に研究し、12 歳で遠泳に参加してより 24 年間の體驗記錄も手許に有り、僭越乍ら非常に豊富な材料を持合せておるがそれをその儘コピさることも相當な苦勞であり現在早急の間、時間的にもそんな餘裕がないので、こゝでは昨年水聯によつて主催された濱名灣横斷遠泳を基として筆を進めそれに幾分の蛇足を加へてみたいと思ふ。従てこの主催を代理された濱名灣游泳聯盟の方々にお氣の毒な點がないではないが、固より殊更何事か爲めにせんとする毒筆でなく、私の體驗から割出した事實を、實際と照合せて批判したに過ぎざるにより、その邊は諒とされたく又神でない人間のこと、私の云ふことが間違つてゐないとは斷言出來ない。故にそのところは先輩諸氏より改めて教を受ければ幸甚。

尙この一文が日頃私の崇敬する水聯の最高幹部たり同時に斯道の權威者たる方々のお目に留る光榮を感謝し、併せてこの仲介の勞をとられたる森先生に衷心より感謝の意を捧げるものである。

#### 濱名灣横斷遠泳大要

申込者	292 名		
参加人員	241 名	一般	46 名
終泳者	221 名	生徒	195 名
發泳時間	正午 12 時		
終泳 "	午後 4 時 10 分		
所要時間	4 時間 10 分		
(氣温水温共記錄ナシ)			
微風、灣の眞中頃相當の波ありたれ共一體に平穩なりき——(以上は私の感じ)			

#### 護衛船と警戒員と給與品

非常の場合を考慮して参加人員全部乗船出來得る船數を用意すべし、これは絶對的でなければならぬ。

護衛船は發動機を用ひず(發動機があつても)手押にして泳者と共に進み成可く波を立てぬ様にして(この爲めに機械を用ひず)特殊の場合の外風上(泳者の)に位置すべきである。然して船頭が熟練しておらないと泳者の位置が船に押されて段々風下へ移る結果になるから船頭も熟練者を選ばなければならぬ。

それに班毎に班號を明瞭にした旗、即ち 1 班の護衛船には全部 1 を染抜いた小旗を立て 2 班の護衛船には 2 を表した旗を立て、おき、そして各船に豫め

給與品を積込んで置くを良しとする。斯ふしておけば萬一の場合各船共はぐれはぐれになつても食物があれば非常に心強い。

護衛船の外に少く共 2 艘の發動機付きの船を用ひし 1 艘は陸上との連絡や各班との傳令等の役割に用ひ、1 艘は總指揮官乗船用となす(こゝに救護員即ち醫師看護婦等を乗込ませても可)救護員の乗込んでゐる場合は必ず赤十字旗を立て、置くべし——遠泳者はこの仁と愛との表象である十字旗を仰ぎ見てどんなにか心強く覺へるか知れない。その強力さは無限だ、そして救護員も相當人數揃へて貰ひたい(その救護員がスポーツ醫學研究の立場から遠泳者に對して協力を望んだ場合は泳者は擧つてこれが達成の爲めに獻身的なるべし——例へば血液調査等の場合にも勿論)。

今回の救護員は幾人ゐたのか知らないが、看護婦は一人の様であつたが、どんな優秀な手腕を有すナースであつても一人じや心細い。幸ひ何の事故もなかつたから良い様なものゝ、大自然を相手に挑戦するといふには常に最悪の場合を考慮に入れて手配しておくべきではなからうか、念には念を入れよ! 救護陣は完璧を期して頂きたい、不祥事は得てしてこれを裏切つた時に起るべきことを呉々も心して頂きたい。

發動機船はジャンジャン波を立て、泳者を苦しめる様なことなき様(この意味に於て特別の場合を除く外護衛船の反對側即ち風下を航行すべし)泳者との間隔は相當距離をおいて頂きたい。特に泳者の先頭前を横切る等の場合には舷側に注意をなし、乗船者も泳者もハツトする様なことなきよう今回も内浦附近に於て指揮船乗者は冷汗をかけた事實がなかつたか、諸々方々目を配ることも大事だが足下を——否船下に一層氣を配つて欲しい。

護衛船に乗つてゐる人は落伍者を收容する時には手際良くやるべし。でない弱虫者は我も我も落伍する。そして時々泳者に激勵を與へることも忘れてはならない。而して泳者に、“エーホイ”等叫ばすことは賛成出來ない。私は警戒員がリーダーになる外は黙々游泳主義だ。

太鼓や鐘を鳴らして進むことも——私は斯ふいふ遠泳に餘り参加しない爲めか却て耳障りだ。

給與品を渡す際には船をグツト泳者の側まで接近さすべく、これも慣れないと仲々手際良く渡されないのである(泳者も警戒員も經驗済みなら呼吸が一瞬の間に合つて相當波があつても苦にはならない)この場合には勿論船の縁等に掴まらせてはなら



ない。若しそうしたものがあつたなら、落伍者として扱つて貰ひたい（その土地によつては食事を船上に上つて食べたり、船の縁に摺つて體を休めて飲料水をとることを平氣で行ふことを黙認してゐるところがあるが、我々はいゝる遠泳者を不快に思ふ。これは聖なる遠泳を汚しておるのだ、遠泳は最後の地まで泳ぎ着くまでは、如何なる場合でも絶対に他物に摺つてはならない。これを侵すものは勿論全泳者ではない。故に主催者は遠泳開始前に特にこのことを泳者一同に注意して欲しい）。

さきに警戒員は風上に位置すべき旨記したが何と云つても太陽を背にして警戒するのが原則であるから、兩者相反する場合は風上をすてゝも太陽を背にすべきは勿論である。

## 隊 列

理想的な隊列は二列縦隊であるが時により三列を採るとしても四列では餘り幅が廣くなつていけない。最悪の場合に逢遭しても列の長いのは船に收容することは易いが、隊列が横に廣がつては拾ひ集めるに非常に困難を來たすものである。

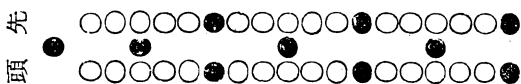
今回も四列であつたが考へ直す必要はなからうか？

然して先頭に立つリーダーは勿論相當遠泳に経験のあるそして頭腦的である人でなければならぬ。でないとい隊を率いて目的地まで着くことが出来ない。再び申すがリーダーは軍隊における少尉の如き立場に在り無暗に自分丈けグングン進んでは不可にて速度は平均に進むこともとより原則なるも、隊員の力を知りその時その機に應じ虚々實々もつて最終の美を飾ることを忘れてはいけない。

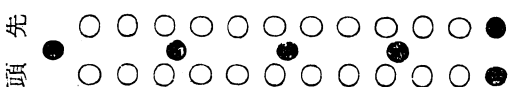
團體遠泳の華は實に最終の美にあるのだ。いや團體訓練の美は最後の華にあるのだ。

今こゝに熟練者の多い場合の隊列を示せば

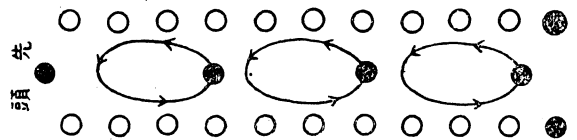
- 熟練者
- 一般泳者



× 熟練者の少ない場合



× 尙熟練者が餘程力のある人であつたなら圖に示す如く時々自分の警戒区域内を一周して元氣を與へることは最も良い。



尙又泳者と泳者の間隔はお互手足の打つつからぬ程度以上でなければならぬこと又勿論である。

## 班別と参加者の帽子

一學校一團體の如く顔見識りの間柄なら兎に角その當日初めて顔を合せて遠泳をやる場合遠泳の参加者なるや否やが一目で判りすべての運行に便宜の様に参加者警戒員等各々の職分を色帽子によつて區別しておく事は大變に良い。

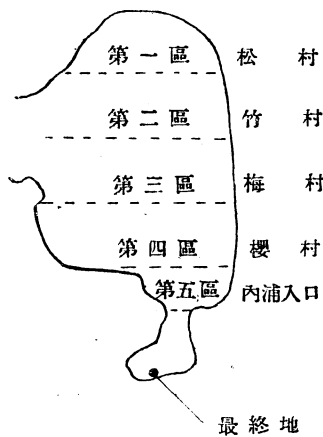
この場合参加者の色は一通りとせず例へば一班は黒なら二班は赤三班は白とする様にすれば、一班に参加の泳者にして力及ばずして途中から三班に加はつてもそれが船上警戒者に直ぐ判つて人員を調査する場合（游泳中）非常に便利である。今回は二通りの帽子を作つて一人隔きに違つた帽子を被らせたが、こんなのは何にもならない泳ぎ出し當時はこれでも良いが落伍者が出來たり班と班とが入亂れて仕舞ふと何がなんだか判らなくなる。故に班毎に帽子の色を變へて欲しい。

## コースを明示されたし

マラソン競走の優勝秘訣の第一條は全コースをすつかり頭に入れてしまふことであるが、遠泳虎の巻もそこにあるのだ。

これを今回の例にとつてみると濱松の附近に住んでゐる人は濱名灣は知り過ぎる程知つておられるであらうが、私達の如く全然知らない者はどうすべきか。

幸ひ發泳地點が變更されてそこまで船で行くといふので、その際水勢をみたり、陸の目標物を定めたりする積りであつたが、折悪しく濱松に着く途中汽車の事故で到着したのが午前1時頃で非常に睡眠不足であつたので、まゝよコースを記した謄寫刷り位呉れるのであらうと思つて船中で眠つてしまつた。ところが斯ふしたものゝ作製はなかつたらしく我々の手許には配布されなかつた。これ等は最も不親切なやり方である。コースを示した地圖と云つても大したものではなく半紙の謄寫版刷りで澤山だ。そういふものを渡されれば泳者はそれを頭の中へ入れておいて、自分は今どの位置まで泳いで來てゐるか、あとどの位泳げば目的地へ着くかといふ目算が大體判



る。そうすると精神的に餘程餘裕が出来て快泳されるものである。その地圖を一番判り易く作るとせば斯ふしたものはどうであらうか。

警戒員は第一區通過の際は“第一區通過”と自分の班の泳者全部にメガホンを持つて通知する（この場合松村通過等と云つても土地不案内の者には判らない）。

第二第三と通過毎にそれを知らせる。これなら泳者も大判りであらう。

私は泳ぐ前に大體の目測を計つて水に入つたのであるが、扱て入つてみると今自分はどの位置にゐるのか、あとどの位泳げば目的地に着くのか最終地の附近に来るまで全然判らずにしまつた（これは大阪灣横斷遠泳にも経験したことで泳ぎ出しては全然船上の指揮者任せだ。それより手がない）。

それに付けても是非全コースを明示した地圖を配布すべきである。

## 遊 方

一番疲れない泳方——それは平泳に決つてゐる故に遠泳には平泳を用ひることは勿論である（水の變化に處する爲めの特殊の少時間を除き）。

平泳にも蛙と煽の二種類がある。その何れを用ひるべきかは申すまでもなく自己の得意を用ひれば良い。水泳十誡の著書に——海軍では各游泳術研究の結果是を統一すべく大正4年6月海軍游泳術練習規定を制定し平泳は觀海流を採用して是を基本水泳となし即ち平泳には蛙股を用ひたのであるが、教育本部では何か見る處ありけん大正14年更らに規定を改正して約9年の型を破り基本水泳を煽足とした云々——と載つてゐるが、私は煽も蛙も知らない初心者にはどちらか一方を選ばさせ、既にその一方を會得してゐる者には強ひて煽から蛙へ又は蛙から煽へと變へる必要はないと思ふ。昭和8年6月付の海軍機關學校“水泳術參考書”に依れば既に會得した足を用ひさせその練達を計らしめる如く載つてゐるが私の意のあるところと同じである。

但し二通り教へることは勿論賛成でその上新しく

教はつた方の足が自分に適すと思つたらその方へ乗替へることの良策たることはこれ又論を俟たない。

齋藤巍洋氏の新著の一節遠泳論に“蛙足が一番疲れない”と斷言的の字句で書いてあるが齋藤氏は競泳コーチの第一人者として尊敬してゐる人であるがこれだけはどうしてもこのまゝ承服できない。齋藤氏はどうして蛙足論を採られたのか、一度親しくその眞理に付きお説を拜聴してみたいと思つてゐるが、その上成程と合點が行けば固より崇敬してゐる同氏のこと早速私の蒙を啓き同時に即刻蛙足を採ること勿論である。

それまでは私は反對に煽足論を採る——ではそれに対する貴様の説は——と問はるゝばその返答は餘りにも簡單である。

1. 少年時代から煽足を會得し爾來研究練磨して來たこと
2. 煽足に使用する筋肉は陸上を歩む時と同じ故單に歩く丈の事に依て筋肉を強められること

大略して上の二通りによるものである。

私の泳ぎをみた中央水泳界の某氏は——成程泳ぎは非常に楽しい。然しそんな静かな柔い泳ぎはすべての水の變化に處して泳ぎ抜くことが出来るであらうか——と。私にして云はしむれば、これなればこそ長時間の遠泳に耐へ得るもので、即ち柔良く剛を制す武道の極地に行くものであると云ひたい。

遠泳不成功の人の泳ぎを見ると大半は蒲鉾が水と喧嘩しながら泳でゐる様に見受けるが、兩虎の争はどちらか一方倒れる理で争は長續きしない……等とは餘りにも我田引水的手前味噌の論であらうが（泳法の解説は筆では十分説けるものではなく水中に於て實地に説明する外なきと思ふ故に私の泳法に就いての詳論を避けるが、他日實地と理論と同時に發表する機あるべく其の際御遠慮なき御批判を頂けば幸甚）。

扱て今回の遠泳に於て濱一中の生徒諸君が煽足（ち即プレストの足でなく）平泳を以て隊伍堂々模範的團體游泳の實を示されたことは、競泳の發祥地でありその本場の中學丈に實に愉快に堪えなかつた。

## 水温气温の記録を必ず残せ

風速、風向き潮流、波浪の有無等は遠泳の成否に非常に關係深い事は多くの人々の既に判り切つてゐることで、故に是等の記録は細大洩さず記入して残して置かざるべからず。然してそれと共に重大關係

を有する水溫氣溫の記入を多くの人の忘れてゐることは解しかねることである。

人ありて云ふだらう——水溫や氣溫は所により時により高低あり、そんなのを一々計つたとて、どうなるか——と。私は云ふ、故に計れと。狭いプールでさへその日その時により一日の中にも多少の高低がある位は誰でも知てゐる。ましてや大自然の河海にあつては深度潮流の關係で氣溫に何等の變化がなく共水溫の高低に非常の開きがある。それを明細に記入しておき、遠泳成功證書にも水溫氣溫の最高度と最低度とを記入すべきが本式であらう。

で、水氣溫共一時間おき位に必ず計り、それを他の記録と共に残しておくべきで、それが後々の爲め非常に参考になる場合が多いものである。

一體大遠泳を單獨に決行し、不成功に終ると多くの人は痙攣を起し残念乍ら——と發表するが、この場合同時に水溫も發表すべきである。でないと事實痙攣を起したのかそれ共力及ばず中止したのか、あとの方に考へられても辯解の餘地なきものである。先年も 30 餘時間で琵琶湖を横斷すると堂々新聞に發表してスタートを切つた伊集院×君（當時 34 歳）の如きは 2, 3 時間の泳績で“冷水の爲め痙攣を起し残念乍ら……”と例によつて發表してゐるが冷水と云つても一體何度位であつたのか、而かも 30 時間泳績決意の君が 3 時間位で尻古垂れるとはどうもお可しい。尙新聞（大毎）には——同君は醫師も附せず悲壯な決意で泳ぐものである——と附加へてあつたが、この醫師を伴はないのが最初から臭いだ。その理由は明ら様に申さなくともお理解の行くことと思ふ。

兎角遠泳をやる者は駄法螺吹きと誤解され易いもので、私等も涙の出る程の侮辱を蒙つたことも一度や二度ではなかつた。不良遠泳家は眞面目に行ふ遠泳家の名譽の爲めに先づ術の研究や練習よりも精神の修練を先にして出直して頂きたい。

## 結びと希望

總じて今回の遠泳は達者によつて却つて幹部（警戒員等を指す）の方が引きずられたかにさへ感じた程見事に終始した。

特に四列である狭い内浦に入る際、ゴチャゴチャになつてしまつて一時はどうなるかとさへ思つたに、その杞憂は一瞬にして消へ再び元の隊形に戻つたことは参加者が精神的にも技術的にも遠泳に餘程の經驗を有してゐたからであらうが、若しそうでなかつたなら實に奇蹟である。

それにしてもなぜあの袋の様な内浦を一週させたのか。それは豫定より早く目的地へ着いたので（最初は内浦の入口が到着地點の筈）時間を経過させる爲めに内浦を泳がせたのであらうが、そんなことをする必要はなかつたと思ふ。

泳者は折角目的地へ着きヤレヤレと思つて安堵したのに、途端到着地が變更になつて延長されたのでは遠泳初参加の者にとつては實に氣の毒千萬な程疲労が倍加するものである。——事實内浦へ入つて落伍した者もあつたではないか。しかもあの汚い水の中で尙も云ふなら内浦に入つて逆潮に逢ふや参加者の疲労が全般的にありありと見へて來た。その副産物として又々隊伍が亂れて來た（これは當然なことである）そこで慌て出した幹部は上陸地點を又も變更するの餘儀なきに至つた。

それはあの場合最も最善な方法であつたことを認めるが、一面幹部諸氏の無定見を暴露したのもとも云へ様、なぜなら内浦へ入る時は潮に押されるから樂であるが折返す時は逆潮になることは判り切つてゐることで、何と云つても第一に内浦へ入れたことが間違つてゐたのである。

又内浦に入つて逆潮に逢つた際、隊伍の亂れたことに對し幹部諸氏は不氣嫌の様であつたが、餘程訓練された團體泳者でない限りあゝなるのが當然で、不氣嫌を洩す前に幹部諸氏は深く考へて見る必要があらう。

と云つて私は徒に幹部諸氏を云々するものではない。のみか私は濱名灣游泳協會の方々に對し心から敬意を表するものである。

それは水聯が長年の間、口先のみ國民皆泳を説き乍ら實際は矢つ張り競泳主義に重點を置いて來たものなるが、時勢の流れと國民體位向上てふ嵐は遂に競泳のみに満足する團體たることを許さず水泳本來の使命に邁進しそのあらわれの一つとしてこゝに第一回遠泳大會が催されたことに對しては當協會の方々の力が與て大なりし事を仄聞した一事である。私は再び心から感謝す。濱名灣游泳協會の方々に——。

轉じて水上聯盟最高幹部の諸氏へ——。

昨春朝日新聞主催に開かれた體位向上を語る座談會に於て末弘博士は實に私共の胸の透く様なことを語つておられたので（勿論新聞でみたのだが）

“これは何かやるぞ”

と思つてゐたところ期待はがらりはづれて相不變聯盟の態度は“競泳陣の強化策即國民體位向上”と解する外なく我々の失望は想像に餘りあつたのだ。



ところがある日の東日紙スポーツ欄は水聯は愈々國民皆泳の見地より日本水泳術を普及し大遠泳をも主催すと報じた。私はこの記事を見て狂氣亂舞而して感激の涙さへ浮べたことは必しも誇張した云廻しではない。

越へて8月16日付朝日スポーツ欄は水聯は水泳普及策として競泳の外遠泳も奨励することとなり、9月12日濱名灣横斷遠泳を行ふ旨報じた。

その後東日スポーツ欄にはコース等が發表され明細は後日又發表する旨載つてゐたがその後各新聞にもこれに就て何等の記載もなかつた。水聯が發表しないのか、新聞が發表しないのか。

そんなことは今更ら詮議だてゝも仕方のないことではあるが、兎に角最高幹部諸氏は遠泳主催に對しては氣乗薄の模様を推察した。

その一つが9月12日の遠泳日であり、その日舉行出來ざる場合は今年延期する等が事實にそれを語つてゐる。

この遠泳に對し申込者292名（濱松への途次水聯本部へ立寄り聞いた節には900名程の話であつたが）實際の參加者は241名（蓋し前夜の暴風に驚いたものか）而してこの費用150圓もケチケチした出費額ではなからうか。

參加者の少きは濱名灣といふ土地の事情のみでなく、聯盟そのものゝ氣乗薄に最大原因があるやに思ふ。

競泳がいゝとか、遠泳がいゝとかそんな議論は止して乗りかけたからには是非毎年舉行して欲しい。遠泳はどこまでも遠泳で而も團體遠泳に重きをおいて先日一寸耳にしたことだが、初島熱海間5人組の競泳とは切離して頂きたい。

次ぎに毎年水聯と文部省との聯合主催とか聞く水泳指導者養成講習會の件であるが、“遠泳論”の講義及び實習の一課目を設けないことはどうしたのであらう。遠泳のことは既に學校の讀本にも載つてゐる様な次第であり、殊に遠泳を水聯が主催するからには尙更のこと、講習會の課目にはくだらぬものを抜いても遠泳論は是非挿入して頂きたい。

又水泳に關する大概のことは巷間腐る程多く出てゐる書籍を見れば判ることだが、遠泳を専門に書いた著書は未だ一冊も發行してなく大半は水泳書の一部へ刺身の妻位にチョツピリ載つてゐるが積の山で、これでは遠泳に對する十分な智識を求めることが出來ない。——又遠泳を軽く扱つてゐる水泳家の心底が第一間違つてゐる。

故に5哩位の遠泳さへ大遠泳と稱し大の男が齒を喰ひしばつて悲壯な容貌をして泳いでゐる者もある有様で、お可しなことではある。

我が新潟市では明治30年頃より小學校の全兒童に正式水泳を教へており、毎年舉行する遠泳日にはこれ等千餘の小海童連が日本海の怒濤を5時間位は平氣で抜切る者が多く壯觀な狀景を呈してゐる（勿論食事水中で攝り船の縁等には絶対に掴かまらせない。これを破つた者は最終泳者には加へられない）。

この長年月遠泳の總指揮者として一度の事故も起したことのなき、水泳の名人を——瀨賀虎三先生——といふ。

田舎に燻り乍ら怒濤を相手に黙々として技術と肚とを練つてゐる先生の在ることを水聯の指導者の方々よ深く心に銘じて下さい。

扱て最後に水聯の最高幹部諸氏に訴ふ。

諸氏はその筋へ提出すべき重大議案を忘れてはゐないか。

そして最も緊急を要すべきことを——。

何？

水泳を武道と共に中等學校の正式課目に加へるべし。而して適當の水泳場を持たざる學校は夏期水泳に適當な地へ出向き練習するか、然らざれば水泳指導書を採用すべし。云々なり。

武道が正式課目となつてゐる今日水泳をこれに加へることは當然すぎる程當然なことではなければならぬ。陸の武を識つて水の武を教へざるは跛の人間を作るに等しい事だ。故に重ねて水聯最高幹部諸氏の御明鑑に訴ふ。

## 千葉高女生の飛込練習

篠塚積

2600年——それは我が日本にとつては色々の意味が含まれてゐます。

飛込界も男子、女子共に世界の水準に達したと云へませう。然し之れを競泳界と比較する時に未だ淋しさを感じないでもありません。

けれども今や2600年を目指して各地の飛込界は猛練習を開始して居ります。千葉高女に於ては數十人の部員は久保田水泳部長の指導の下に女子飛込界の爲めに献身的な練習が續けられてゐます。

祈る！！ 之等若い人が東京大會の大空に翼を延ばす事の多きを。2600年よ！！ 水上日本の名の下に飛込界にも世界制覇の夢を實現せしめよ。

# 卵巣濾胞ホルモン劑プラニンによる 月經週期の人工的移動實驗

京都帝國大學醫學部婦人科研究室

醫學博士 八木日出雄 (現岡山醫科大學産科婦人科教室、教授)  
醫學博士 小榮次郎  
岡本さかえ  
山本よしえ

註 本文は「女子運動選手の月經週期移動試驗」と題して本誌第廿八號(昭和十年)に八木先生外上記の先生が寄せられた序文的研究報告の本論ともなるべきものです。(編輯部)

東京帝大水泳部 富田國男譯

1932年、米國ロスアンゼルスに於けるオリンピック大會に際して、1人の日本、2人の外國女子水泳選手が、丁度その時月經があつたので、待ちに待つてゐた國際競技への参加を斷念せねばならなかつた。彼女及び彼女をこの遠地に派遣した國家にとつて、何たる損失であつたことか。そこで日本水上競技聯盟の一役員が、かかる場合に月經を延引し得るものであるか、及、その方法如何を我々に問ふた。我々はかかる月經遅延が可能なりと説明した。而もそれは次の理由からであつた。即ち我々の中の二人、小榮と岡本は、性的に成熟せる婦人の尿中にある卵巣濾胞ホルモンの分泌に關する研究に際して人體から濾胞ホルモンが或一定量迄分泌せられると、通常月經は始めて開始されるといふ結論に到達したのであつた。かかる觀察よりすれば、個體に或量の濾胞ホルモンを月經前に與へ、かくして身體内に尙或期間ホルモンを豊富にしておくならば、月經開始は遅延するに違ひない。所謂 Zondeck の Poly=Hormonale (ホルモン過多) Amenorrhoe (無月經)はこの推測の正しさを語つてゐる。

結婚の直前にある花嫁について、或は、來るべき月經を停止し得るならば、旅行や、長い遠足を行ひたい婦人について、臨床家はしばしば我々に上記の如き問題を提出する。

それ故ここに提出された實驗は、我々にとつて單に科學的にのみならず、實際的にも興味があるのであつた。

被實驗者に及ぼす害は、本實驗に際しては恐れられなかつた。ホルモン作用は或程度迄一時的のものである事は、現在のホルモン療法における經驗が、我々婦人科醫に教へてゐる。我々の上に引證した業

績によれば、與へられた濾胞ホルモンは通常速やかに尿中に排出される事が確定してゐる。故に被實驗者の蒙むる被害については述べない。これに反し我々は當然これに對して、むしろ利益を期待したのであつた。我々は既に以前から、婦人の生活力は、月經直前の期間に最も盛である事を知る。故にかかる期間の延長は特に運動選手にとつて望まれるであらう。

假令我々の被實驗者数が非常に少ないとは云へ、我々は結果を報告する資格を有する。何故ならば、實驗例の半数に於て、期待せる作用を見出したからである。

濾胞ホルモン劑として、我々は、鹽野儀商會で發賣してゐる國産のペラニンを使用した。服用に際して、藥劑は錠劑又は粉末として與へた。處方に關しては後に委しく述べる。

## I. 被實驗者の人數と年齢

29名の被驗者中、19名は運動選手、10名は普通婦人である。全部未婚者、實驗迄規則正しき月經を有した。

選手内譯	水泳 6	籠球 6	庭球 2
	徒手體操 2	競走 2	槍投 1

年齢は14年より29年迄であつた。

年齢	人數	年齢	人數	年齢	人數
14	1	19	1	25	1
15	2	20	4	27	1
16	4	21	1	29	2
17	4	23	3		
18	3	24	2		

運動選手の年齢は概ね20年以下なり。

## II. 從來の月經

1) 月經の徑歴 初經を13年に見たる者7名、14年1名、15年8名、16年3名であつた。

2) 競技の月經に及せる影響 運動選手中2名は月經中運動をやめてゐた。16名はかかることはなかつた。選手中6名は運動を行つた影響を全然認めなかつた。それに反し13名は影響があつた。即ち分量増加2例、減小2例。繼續期間延長3例、短縮1例、不定3例。週期ののびたるもの3例、短くなつたものは無かつた。

### III. ペラニン投與の月經週期に及ぼせる影響

投與前では被験者中最小週期のものは23日型にして、最長週期のものは37型であつた。最多のものは28型、30日型がこれに次ぐ。小榮其他がその業績に示せる如く、この頻度は、上述の初經年齢と共に日本人では普通のものである。

ペラニン投與と共に週期は變じた。ホルモン劑投與後の最初の月經は、26日より77日に亘る廣範圍に出現した。最多数は31日と37日であつた。

第2回の月經は最初の月經後23日より75日の間に現はれ、最多数は32日、次は27日である。故にペラニン投與後の第1月經の週期は延長すると云ひ得る。この週期への影響は、第2月經に際しても尙認められるが、第1月經程著しくない。

(第1表参照)

第1表 週 期

一週期ノ日數	服用前	服用後	
		第1月經	第2月經
23	1	0	1
25	0	0	1
26	1	1	0
27	2	1	3
28	8	2	2
29	0	1	1
30	7	2	1
31	2	4	2
32	5	2	4
33	0	2	1
34	1	1	0
35	1	0	1
36	0	4	0
37	1	1	1
38		0	2
39		0	1
42		0	1
45		1	0
46		1	0
48		1	0
54		0	1
59		1	0
75		0	1
77		1	0

### IV. ペラニン投與後の月經の狀況

我々は月經の開始を期日毎に比較して觀察した。月經の開始が通常の開始日より3日前後するのは、生理的なりとして許容する。ホルモン投與後の二つの月經は第2表の如く表はれる。

即ち第1月經に於ては、月經の早發せる場合は皆無でありたるに對し、約半數は遲發例であつたことが注目される。投與後の第2月經については23名が我々に報告した。その中の半數、即ち12例に於ては第2月經は正常の範圍の中に開始した。これに反し8例に於ては遲延し、3例では早發した。早發の例は、ペラニン投與によりて第1月經に影響のなかつた人の中に起つた。

第2表 ペラニン投與後の月經の開始

	第 1 月 經	第 2 月 經
正常期間	通常通り 4例	3
	1日早し 6"	1
	2日早し 0"	2
	3日早し 1"	2
	1日遅し 1"	2
	2日遅し 1"	0
	3日遅し 2"	2
	總計: 15	12
促 進	4日	1
	5日	0
	6日	0
	7日	1
	8日	1
	0	3
遲 延	4日	0
	5日	0
	6日	1
	7日	0
	8日	3
	9日	0
10日以上	6	4
	14	8

### V. 運動競技とペラニンの作用との關係

1) 一般觀察 ペラニン投與後の第1月經は、普通婦人7例では正常範圍内で開始され、3例では遲延した。一方運動選手8例では正常範圍内に開始され、11例即ち半數以上では遲延を示した。

ホルモン投與後の第2月經は、8名の普通婦人中6名、即ち絶對多數は正常期間内に、1名は早發、1名は遲延した。15名の運動選手中、第2月經は6

名は正常、7名は遅延し、2名は早發した。

この結果によれば、運動選手の月経は、ホルモン投與によりて、普通婦人の月経よりは、遅延の方向に非常に強く影響される。この原因が身體の緊張と年齢の相違によるらしい事については次にくわしく述べる。

2) 運動の種類 我々は陸上運動選手に於て、水泳選手に於て、より運動が月経に強く影響する事を見た。前者に於ては第1月経は3例は正常、9例は遅延した。後者に於ては4例は正常、2例は遅延した。第2月経では、陸上選手に於ては3例は正常、1例は早發、5例は遅延、水泳選手に於ては3例は正常、1例は早發、2例は遅延した。

### VI. 年齢とホルモン作用との關係

若年者に於てはホルモン投與後月経の遅延は、高年者よりは容易である如く思はれる。運動競技者の絶對多數は若年者である。

第3表 (a) 被實驗者の數と年齢

	總 數		運動選手	普通婦人
	14—19年	20—24年		
14—19年	15	13	2	
20—24年	9	5	4	
25—29年	5	1	4	

第3表 (b) 年齢とホルモン作用  
投藥後

	14—19年		20—24年		25—29年	
	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経
正常期間中:						
通常通り	1		3	3		1
1—3日早し	4	4	2	6	1	4
1—3日遅し	1	1	1	1	2	2
早く開始す:						
4日		1				
7日		1				
8日				1		
遅く開始す:						
4—10日	4	2	3		2	1
11—20日	3	1		1		
21日以上	2	2				

### VII. 體質とホルモン作用の關係

運動選手の多數は、Vollweib型にして、普通婦人の多數は Vollweib 型、他の多數は衰弱型に屬す。我々は體質とホルモン作用との關係に何等擧ぐべき

ものを見出さなかつた。

### VIII. 藥劑の處方と月経への作用との關係

1) 全投藥量 豫期せられてゐる月経前1週間の間、毎日250乃至500ME 攝る様指圖して、ペラニン錠或ひはペラニン末を與へた。しかし全員がこの指圖に嚴格に従つたわけではなかつた。

22例は全部で1200から2500ME迄を攝つた。この例に於ては半数に於て第1月経の遅延を來した。他の半数では正常に開始した。只600MEを攝つた1例は遅延した、全量3500乃至9600の6例中4例は正常に開始し2例は遅延した。第2月経に關しては、全量600乃至2500MEの諸例は一部遅延の反應を呈した。

第4表 全投藥量とその月経への作用

	600 ME		2000 ME迄 (4例)		2500 ME (18例)		* 3500 ME 及それ以上	
	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経
正常期間中:								
通常通り					3	3	1	
3日早し			1		5	3	1	2
3日おくれる			1	2	1	1	2	1
早く開始				1		1		1
遅く開始:								
4—10日			2	1	5	2		
11—20日	1			2	2	1	1	2
21日以上		1			2	2	1	

\* 3500 ME, 750 ME 各2例, 5250 ME, 9600 ME 各1例

2) 1回投藥量、3例を除き、第4表に示された全量は4乃至7回に分ち攝られた。第5表を参照されたい。

第5表 處方と作用

	1回分量及其作用						一時に全量服用					
	500 E宛		600ME宛		750ME宛		600ME		1250 ME		2500 ME	
	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経	第1月経	第2月経
正常期間中:												
通常通り	3		3	1								
3日早し	4	1	3	8	1	2						
3日遅し	4		2			1					1	
4—8日早し		2				1						
遅く開始												
4—10日	4	2	1	1	1			1			1	1
11—20日	7	1	4		1	3	1					
21日以上	1	1			1			1				

第5表によれば、750 ME 宛あたへた場合が、2例は正常、3例は遅延で、比較的良い作用を示してゐる。1回に多量宛投與する方が、少量投與するよりも良い様に思はれる。

### IX. ペラニン投與と月經開始との時間的關係

第6表 月經の豫定開始日前へのペラニン経口服用

	1 週 間		2 週 間	
	第1月經	第2月經	第1月經	第2月經
正常期間内: 豫定日に開始	3	3		
豫定日前3日以内	6	4	1	2
豫定日後3日以内	3	4	1	
4-10日早く開始		2		1
4-10日遅く開始	8	4		
11-20日 "	2	2		7
21日以上 "	2	1		

我々は、藥劑を月經の豫定開始日前1週間に亘りて與へる時は、ペラニン投與後の第1月經は半数は遅延し、半数は正常に開始するのを見る。月經豫定開始日前2週間に亘りて藥劑を投與せる2例に於ては第1月經は正常に開始した。第2月經に於ては、1週間あたへた11例は正常で、7例は遅延した。

故に月經開始日前の藥劑の投與は、最も有效なりと云ひ得る。

### X. ペラニン投與と月經繼續期間との關係

第7表 繼續期間と強度

繼續期間 日	投藥前 例	投藥後	
		第1月經	第2月經
2	0	0	1
3	1	4	2
4	10	8	7
5	10	9	8
6	4	2	2
7	3	4	3
8	0	1	0

大多數の被験者は、ペラニン投與前4乃至5日の月經を有した。大體に於て、投藥により、第1及第2月經の繼續期間は殆んど影響されなかつた。

次の比較によつて、期間の小變化は短縮の傾向にある。且第2月經では更に小さいと云ひ得る。

第7表 a ペラニン投與前後の月經繼續期間の比較

	第1月經	第2月經
投藥後 延長せるもの	3	2
" 短縮せるもの	5	5
" 變化なきもの	21	16

### XI. ペラニン投與と經血量との關係

第8表 (a) 血量と強度

	投藥前	投藥後	
		第1月經	第2月經
大 量	0	2	0
中 量	22	16	17
小 量	6	11	6

第8表 (b) 投藥前後の經血量の比較

	第1月經	第2月經
投藥後 出血増加せるもの	5	1
" " 變化なきもの	14	17
" " 減少せるもの	10	5

月經出血の強度は投藥前大多數に於ては中等量であつた。投藥によつて、半数に於ては第1月經の強度は影響されず、他の半分では減少した。第2月經では出血の強度は殆んど影響されない。

### XII. ペラニンの副作用

25例は副作用なく、4例は頭痛及軽度の下痢を訴へた。

### XIII. ペラニン投與と月經痛との關係

1) 月經苦痛者への投與 5例は實驗前に、月經に際して苦痛を感じなかつた。しかし24例は、強さの差に多少はあるが、苦痛を感じた。この苦痛はペラニン投與によつて、絶對多數例が減少するか、或ひは現はれなかつた。

第9表 苦痛の程度

苦 痛	運 動 選 手				普 通 婦 人		
	實驗前	實驗後		實驗前	實驗後		
		第1月經	第2月經		第1月經	第1月經	
強	2	0	0	2	1	2	
中 等 度	5	1	1	5	2	3	
弱	7	4	0	3	0	1	
無 痛	5	13	13	0	6	5	



2) ペラニン與前後の各種月経痛の種類 第10  
 圖より、月経痛は第1月経に於ては著しく減少し、  
 第2月経ではそれ程ではないことが分る。

第10表 月経痛

種 類	實 験 前		實 験 後						
			第1月経			第2月経			
	強	中弱	強	中	弱	強	中	弱	
下腹部徴候									
下腹部痛	(10)	4 2 4	(1)			1 (4) 3	1		
苦痛感	(9)	3 2 4	(1)			1 (1) 1			
不快感	(8)	3 3 2	(1)			1 (1) 1			
壓迫感	(3)	1 2							
焦燥感	(5)	1 2 2	(1)			1 (2) 1 1			
倦怠感	(2)	2	(2)	1	1				
寒冷感	(5)	2 2 1							
下肢疼痛	(4)	1 3	(2)			2 (1) 1			
尿窮迫	(1)		1						
胸部痛	(1)	1	(1)	1					
胸部緊張感	(1)	1							
全身倦怠感	(4)	1 2 1	(1)	1					
頭痛	(3)	1 1 1							
偏頭痛	(2)	1 1							
慄悸	(1)	1							
胃腸障害	(2)	1 1							
食欲減退	(3)	1 1 1				(1) 1			
嘔吐									1
下痢	(4)	1 3							
不安感	(6)	2 1 3	(1)			1 (1) 1			
沈鬱	(12)	2 7 3	(1)			1 (1) 1			
おこりやすい	(7)	2 1 4	(1)			1 (1) 1			
快活	(2)	1 1							
ねむい	(5)	2 1 2	(1)			1 (1) 1			
發疹	(2)	2							

(括弧中は、當該苦痛の總數を強度に無關係に示した。)

總 括

來るべき月経を、濾胞ホルモン投與によつて、通常日より遅く開始せしめんとする希望をもつて、我々は、從來規則正しき月経を有してゐた正常婦人に濾胞ホルモン劑ペラニンを投與した。

この實驗結果は次の如く總括される。

(1) 月経開始前に卵巣濾胞ホルモン劑ペラニンを經口的に攝取すると、半数例では月経の遅延をおこし、他の例では月経は正常に開始した。早く始まつた例は皆無であつた。

(2) 陸上運動競技者及比較的若年の運動家は、水泳競技者及比較的高年の運動家よりは遅延を起す度が多い様に思はれる。

(3) 月経週期を長くするためには、當該月経の直前に藥劑を與へる事が必要である。

(4) 投藥後の第2月経への影響は、小數例にのみ認められる。これには促進されるものも、遅延されるものも同様にある。藥劑によつて、第1月経に影響をうけずにゐた人の中に、この例を生ずる。

(5) 經血量及繼續期間に對する影響は無い。

(6) 處法に關しては何等決定的なるものを發見し得なかつた。そのためには大量の實驗材料への更に深い研究と、ペラニンの經腸吸収による吸収及個體の體質の嚴密なる研究を必要とする。

(7) 附隨的發見として、實驗期間中に競技記録の向上せる二三例と、實驗前有せる月経痛の減少或は完全なる消滅を見たのであつた。

◎「エノケン」プールへ現はる ◎



アナウンス中の清水さん

ゴシップは作られるものか、作るものか分らない。次の場合は何れに屬するだらうか、

野田主事「清水、松澤さんの側で飯くつたら太るぞ」

清水さん「さうかね………」

松澤さん「ウフ………」とやゝ受太刀

ゴシップが出来さうだつたので迂闊にも

×「もつと話を續けて下さいよ」とねだると、さとられた。「どうも×の前では何も話せないからね」と少々敬遠される。

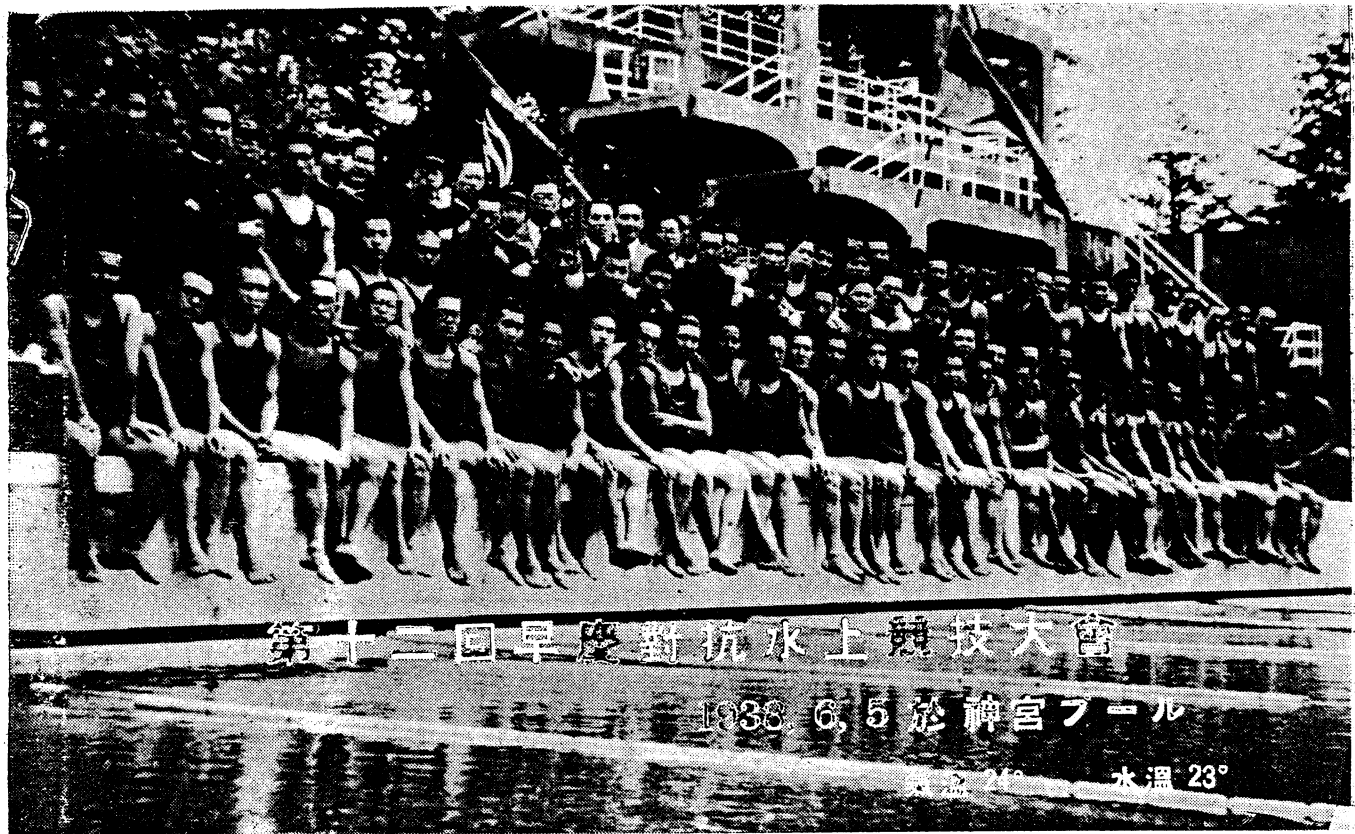
この時名案あり×執拗にも上の寫眞をとり出して松澤さんいいものを見せませうと、差し出す手に渡す。側から

野田さん「感じがでてゐるね」とほめる

清水さん「眞劍そのものだ」と嬉しさう

その時戰期熱しけん松澤さん斷呼膺徴の火蓋を切つて「ざまみやがれ、しめしめだ、おい× エノケンプールに現はれるの圖とやつてくれ」と

後でゴシップ擔當者野田さんと×は又一つ拾ひ物ができた大笑ひ。



第十二回早慶對抗水上競技大會

1938. 6. 5 於神宮プール

東京 24° 水温 23°

(N. S. R. 平岡氏撮影)

戦前の豫想は白熱的接戦を演ずるが早大連勝の見込であつた。即ち東朝の木村氏は中、長距離自由形を勝敗の分岐点となし、報知の兩角氏は早大の連勝を豫想する一方慶大のチャンスが 400、1500 に於ける大量得点をあげた時であるとなし、東日の齋藤氏も最初の 400 のすべり出し如何で運の分れ目となし、讀賣の鈴木氏亦慶大の實力充實を認めて最初の 400 の結果如何が勝敗に大影響を及ぼすとなし、興味と關心の焦點が期せずして劈頭の 400 m 自由形に集つた。即ち早の牧野、杉浦に對する慶の寺田、高橋の大激戦であつた。これが戦前の一般的下馬評であつた。

戦は正 1 時より始つた。

400 m 自由形決勝

1. 高橋 弘 (慶大) 4; 51,8 大新
2. 寺田 登 (慶大) 4; 55,8
3. 牧野 正藏 (早大) 5; 02,2
4. 杉浦 重雄 (早大) 5; 02,8
5. 渡邊 龍治 (慶大)
6. 篠崎 正也 (早大)

100 m まで揃つてゐたが、寺田、高橋やリード 200 m では高橋リード寺田、杉浦、牧野と続き 300 m で高橋約 2 體身リードし寺田之に続き牧野杉浦ずつとおくれ、早くも 300 m で勝敗を決し

た、ラスト 50 m で高橋、寺田スプリントをきかせて悠々と高橋ゴール、2 m おくれて寺田 2 着、牧野は約 5 m おくれて 3 着、

得点 慶—5 早—1

200 m 平泳決勝

1. 小池 禮三 (慶大) 2; 44,0
2. 長久 俊三 (慶大) 2; 50,4
3. 古川 敏 (早大) 2; 52,0
4. 寺田 武實 (早大) 2; 52,6
5. 三輪 春雄 (早大)

小池の一着に文句ないとして、2、3、4 着は最後のターンを了へて俄然白熱戦を展開、スタンド又騒然、新人古川懸命に頑張つたが老巧長久約一體身離して 2 着となる。

得点慶大 5 (10) 早大 1 (2)

100 m 自由形決勝

1. 片岡寅次郎 (早大) 1; 01,8
2. 宮崎 康二 (慶大) 1; 02,4
3. 高尾 龍實 (慶大) 1; 03,2
4. 杉田 芳郎 (早大) 1; 03,8
5. 坂上清太郎 (早大)

新人早の杉田 7 コース慶の高尾 6 コース、コースを隣にして 50 m 迄接戦、ターンしてから片岡出て 75 m 邊りから宮崎猛烈なビートングで片岡に

迫る、片岡僅かに勝ち、宮崎2位、杉田や、あせつてすべり悪く、高尾ゴール前で混戦の間をすすると切り抜け3位に入る。早大の全勝乃至は5;1のリードを豫想されたる此の一戦に慶大は互角の戦を挑みえて、三色旗軍意気高し、

得点 慶大 3 (13) 早大 3 (5)

#### 100 m 背泳決勝

1. 兒島 泰彦 (慶大) 1;08,6 (大新)
2. 吉田 喜一 (早大) 1;11,2
3. 山本恭之介 (早大) 1;14,0
4. 谷口 辰三 (早大) 1;15,2
5. 堀 泰一郎 (慶大)
6. 井上 秀雄 (慶大)

吉田6コース、兒島5コース、期待された一戦、スタート後吉田しばらくリード、兒島は右コースロープ寄りに泳いで50m迄や、あせり気味、50mで兒島は例のすばやいターンで、吉田のもどかしいターンに飛沫を浴びせ、結局今年のインタカレッツヂ戦の如く、兒島水中より出て来た時は既に確實なリードをなし、後半も依然として好調のまゝ吉田を2m離して一着、

得点 慶大 3 (16) 早大 3 (8)

疲れに乗じて牧野猛烈なラストスパートをなし杉田も之を追つたが、前半の差が大きすぎた故か島本遂に名をなす。

得点 慶大 3 (19) 早大 3 (11)

#### 1500 m 自由形決勝

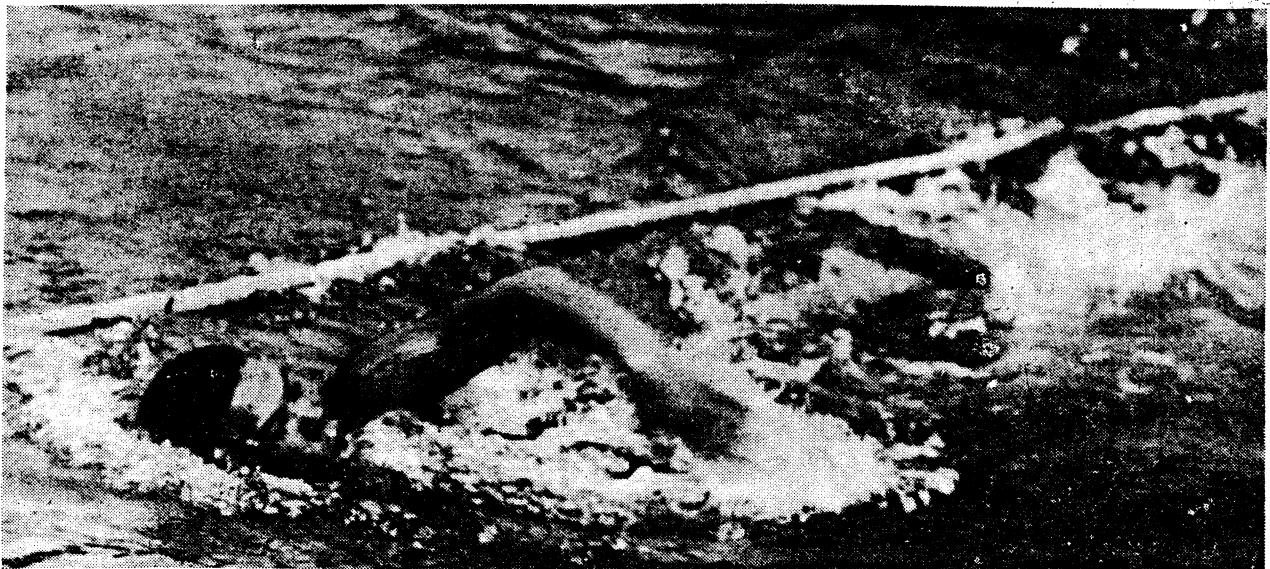
1. 高橋 弘 (慶大) 19;49,2
2. 寺田 登 (慶大) 20;11,4
3. 片山 崇 (慶大) 20;11,6
4. 杉浦 重雄 (早大) 20;52,8
5. 田中 英作 (早大)
6. 金子 豊 (早大)

杉浦の活躍大いに期待されたが、350mで片山に追いつめられ400で等外におちた。勢ひに乗つた慶大は高橋最初から好調裡に終始し、寺田又確實なリードをもつて進む、早大陣心なしに壓倒され気味、片山は遂に杉浦を抜きタッチの差で寺田に勝をゆづる。慶應は意外の全勝、

得点 慶大 6 (25) 早大 0 (11)

#### 800 m 継泳決勝

1. 慶大 (高橋、寺田、渡邊、島本)  
9;14,4



高橋 (慶) の 力 泳

(同盟通信社撮影)

#### 200 m 自由形決勝

1. 島本 信美 (慶大) 2;18,4
2. 牧野 正藏 (早大) 2;19,4
3. 杉田 芳郎 (早大) 2;19,6
4. 片岡寅次郎 (早大) 2;21,8
5. 中澤 脩 (慶大)

島本スタートから元氣一杯、牧野、杉田懸命に追つたが、依然として島本リード、150より島本の

正式ラツプ 高橋 (2;15,6)  
寺田 (4;33,0)  
渡邊 (6;55,0)

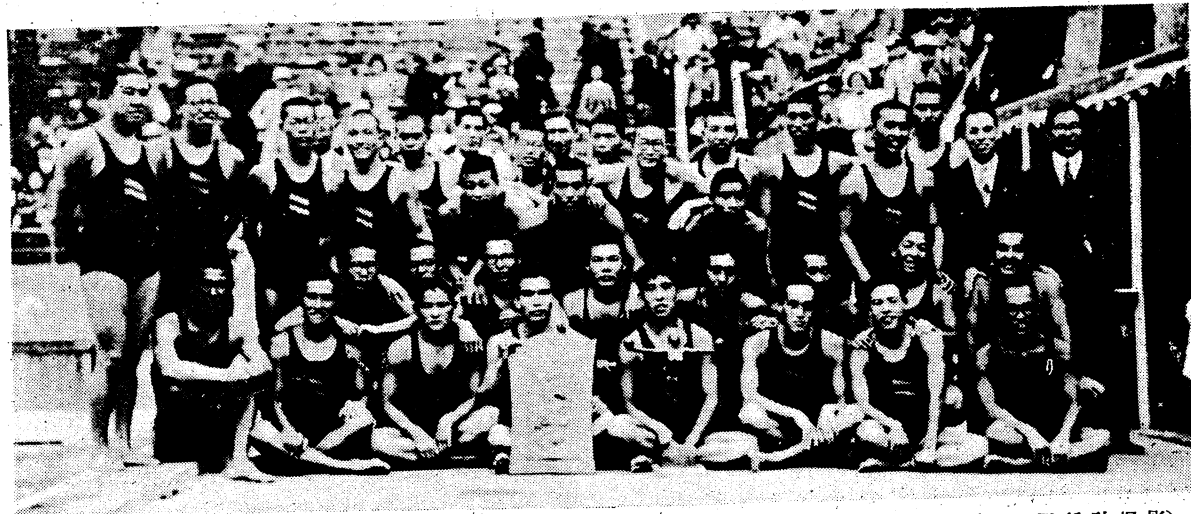
2. 早太 (杉田、田中、牧野、杉浦)  
9;17,4

杉田よく頑張つたが高橋に約3米リードされ、田中も寺田に約7米リードされる、牧野は渡邊を、猛烈な聲援の裡に3米に迄つめ、続く杉浦も前半

急ピッチで島本に迫つたが、島本もよく頑張つて遂に凱歌慶は應陣に揚がつた。

得点 慶大 3 (28) 早大 0 (11)

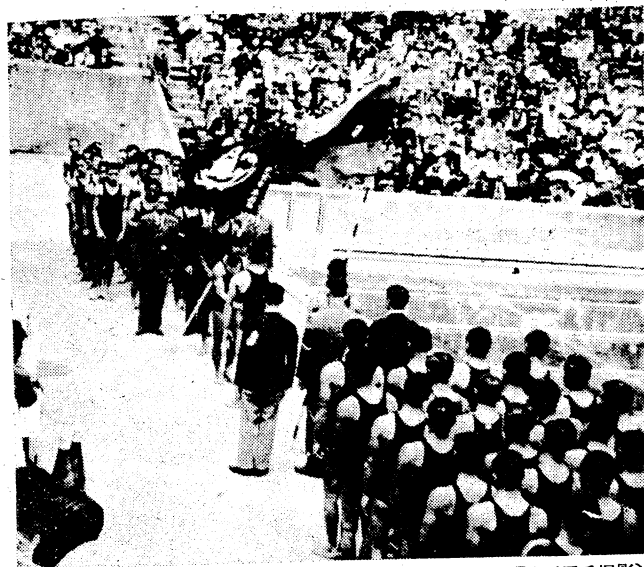
總得点 慶大 28 早大 11  
かくして慶大は雌伏年 11 の後輝かしい宿望を達した。



優勝せる慶應競泳、水球軍、並びに飛込軍 (同盟通信社撮影)



白山審判長より優賞楯を  
うける慶大小池主將 (同盟通信社撮影)



入場式兩軍主將の握手 (N. S. R. 平岡氏撮影)

### — 戦 の 跡 —

早慶兩軍の主將、マネジャー、乃至は各選手に戦の跡をふりかへつてもらふ事が理想的の早慶戦批評であらう、然しそれはそれとして、スタンドの記者席から専門的な眼と豊かな経験とをもつて此の一戦を觀られた各社の記者の聲をきく事も考へられる理想的な早慶戦記に違ひない。

即ち、東日の齋藤氏は早大の敗因は牧野、杉浦のスランプが士氣を喪失させ續く 200 m では慶の大量得点が早に立ち直る隙を與へなかつた。更に早大が短距離を死守しなければ勝味ないのに短距門の杉浦を高橋、寺田で固めてゐる 400 m、1500 m に挑戦

させて杉浦を腐らせ、更に得意の 800 m リレーをも失ふ結果になり作戦的にも失敗したと。朝日の木村氏は早大の敗北は選手の一時的不振とは云ひつくされないものが残るやうである。競泳の選手としてベルリン大會へ赴いた新聞、永見兩君が水球に轉じた事は早陣を弱めた理由の一つである。この兩者は早陣の中堅として自ら猛練習を行つて若い選手をリードすべき位置にあつた。假令レースで好成績をあげえぬとするも各種目選手を振ひ立たしめる爲めには非常に役立つ事であらう。勝敗の分岐と見られた劈頭の 400 m 自由形に於て幸先よいスタートを切つた慶應、レースが進むにつれて展開された早大の不振は單に 400 m の向背如何に影響されぬ程の深

刻さであつた。最も不振を示したものとして牧野、杉浦があげられ早大惨敗の責の大半はこの兩君が受くべきであらう。慶大は選手量に於て劣勢であつたがその持駒は豫想以上の活躍をなし、高橋、小池、兒島の記録は共にこの競技會を記録的に飾つた。早大はレース三日前の記録會に於てはかなりの好調を示してゐた所から一時的オーヴァワークに陥つてゐたものと想像されるがそれにしても餘りの惨敗で、苦杯を嘗めた早大陣が今後もあんな低調を辿るとは決して思はないが、この敗戦を門出として、緊禪一番秋のインタカレッズの必勝を期する様切に希望したいと。報知の兩角氏は早大は約廿日間の合宿練習に於てコンディションの持つてゆき方に誤算を來したらしく、各選手共 4、5 日前好調の山にぶつつかつてしまひ、大切の一戦には何れも元氣なく、僅かに平泳のみを豫想した得点をあげたにすぎなかつた。之に對する慶大は 11 連敗を後をうけてゐるだけに既に心構へに於ても早大を押し接戦どころではない快勝をえた、而も好調の山にあつたせいか高橋、寺田、兒島、小池の精銳は勿論として續く新進も素晴らしい意氣込みで、早大を完膚なきまでにたゞきめしたのであつた。中外商の出野氏は、早大の敗因は主力たる杉浦、牧野の闘將が全く不調であつた事で杉浦をその生ひ立ち畑である中、短距離から牧野と入れ代へて長距離へもつて來た事を作戦の誤謬と指摘するよりは寧ろアウト、シーズン中に於ける練習方法の違算、即ち選手の最良コンディションを試合當日に持つて來る過程に何らかの誤算があつたと推定される。都の矢野氏も亦、總體的に見て早大短距離陣の不振を敗因の一つとして擧げられるが、劈頭の 400 の不覺が大きく響いた事も争はれない、然し當日最高調にコンディションを持つて來れなかつた事に起因してゐやう、總ての違算に不調を來した早大と非常な好調に恵まれた慶大との對戦としてこの勝敗も致し方ないものであらう、と。

勝つた慶大、敗けた早大、今年度の早慶戦は既にすぎ去つたとは云へ、兩軍共この戦の經驗を如何に生かしてゆくか、將又この一戦から何をつかむか、又別の意味における新らしき早慶戦に違ひない。新らしきスタートに立つた兩軍選手諸兄の潑刺たる前途を祈つて擱筆す。(白想人生)

## 早稻田を叱る

白山源三郎

「28 點對 11 點で早慶水泳戦は慶應の勝となりました」と云ふ放送ニュースは水泳を少し知つて居る人なら、一寸ホンヤリ聞いて居ると、ア、又かと過すであらう。然しそれは早稻田が勝つたと早飲込をしての事である。早慶水泳は早稻田の壓倒的勝利に終るものと相場が定つて居た。10 年以上それが續いた泳ぐ選手も早稻田側では勝負を度外視して、シーズン初めの小手調べと新記録目標で泳いだ様である。點數も早稻田が壓倒的に獲得するのは申す迄もなかつた。28 對 11 と聞いてア、又いつも通り早稻田の勝利かと早合點するの無理はない。然るに事實は 28 對 11 で慶應が勝つたのだから驚かざるを得ない。

昨年は 10 年の歴史を破つて兩校勢力伯仲し最後のリレーで勝負を決したと云ふ珍しい試合となつた後を受け本年は 12 年目に初めて慶應の優勝を見るらしいと云ふ噂であつたのであるが、斯の如きスコアにならうとは思ひも設けなかつた所である。早稻田が愈々慶應に敗れるとしてもそれは大接戦を演じての後の事であらうと思ふのは當然の事で、此結果には何人も啞然たらざるを得なかつたのは無理からぬ事である。

敗れた早稻田も涙も出なかつたであらうし、勝つた慶應は宿望を達した事と苦心の報られた事は流石に嬉しかつたに違ひないが飛び立つ様な喜びがなく力抜けした貌であつた。之は一體どうした事だらう。慶應に努力の跡がたしかに見える。高橋の確實な進境には特に頼母しいものがある。之に寺田があり、新人片山の躍進と、島本の健在、中距離陣の充實は往年の早大堅陣を一蹴するの結果となり、地位を顛倒した感があつた。それに小池、兒島に特殊目を抑へられては早稻田も手が出なかつたのに無理はない。慶應は中長距離の充實により缺陷のないチームとなつた譯である。正に慶應の黄金時代であらう。

それにしても之に對し早稻田は餘りに弱すぎた。傳統的堅陣、中長距離を蹂躪されるに任せたに至つては見る者をして其昔を憶ひ啞然たらざるを得ざらしめた。400 で牧野が僅かに 3 着、200 で島本に 1 着を取られ、1500 に於ては零敗を喫すると云ふに至つてはどうかしてると云はざるを得なかつた。と云つて特殊目に於ては依然吉田は兒島に一步を譲り、平泳には相不變英雄出せず唯陣地を荒らさるゝに任

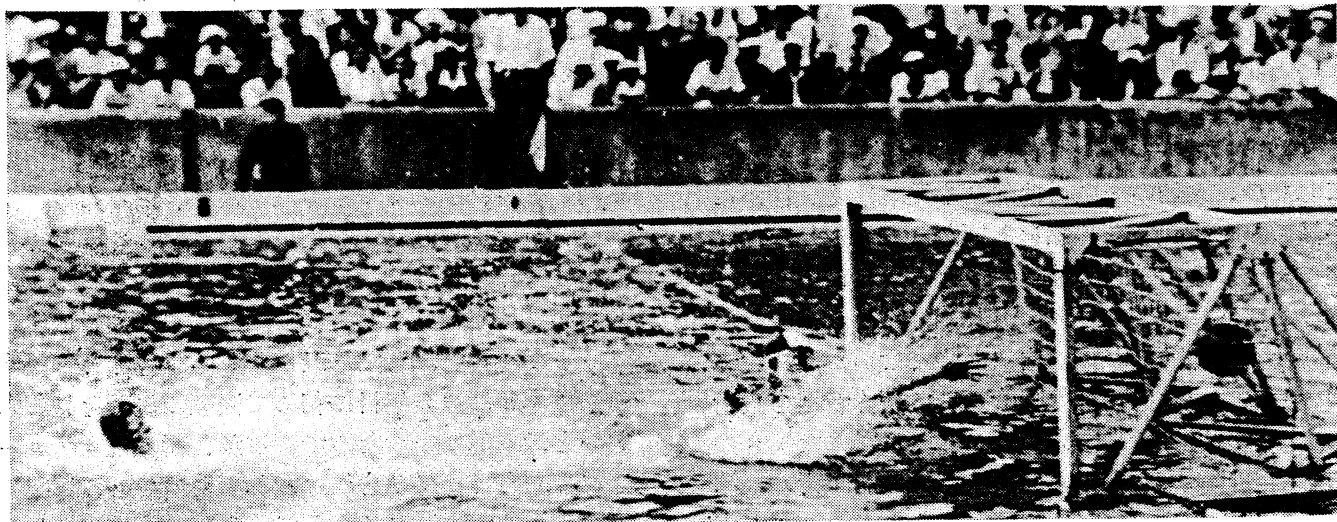
せた譯で、見て居て慶應が負けて居た時代よりも著しく面白くない仕合であつた。「一體どうした事か」と云ふのは全ての人の口から出た言葉であり、先輩諸氏までが同じ事を云つて居るので更に驚いた。

兩校共に泳ぎは全般的に悪いと思ふ。慶應には今こそチャンスと張切つて練習した跡が見えるが、技術的に見て一般に進歩したとは云へない。高橋、片山の進境を讃へ得るに停る。早稲田に至つては練習の後は見へず意氣消沈は早稲田らしくもない。

何とかして貰はねばならない。今春早慶某部の對

抗戦に早稲田が惨めな負け方をした。早大の先輩は選手を並べて置いて撲つた。選手は全部丸坊主になり某所に合宿して来るべきインターカレヂの爲に秘密練習を續けて居ると聞く。そんな事は獎勵すべきでないが、その位の意氣が必要ではないか。完全なプールが出来てから急に弱くなつたとあつては申譯があるまい。日本水泳の爲敢て早稲田を叱りたい。

双葉山が強い間は日本の角力は益々向上するが、双葉山が弱くなつたら日本の角力は一度に弱くなるであらう。



慶應最初の得點

(同盟通信社撮影)

## 早慶水球

## 早慶水球戦を觀る

三橋達郎

慶大			早大	
松本	}	F.W	小越	野川
和名取			新武	間藤
石原	}	H.B	永見	田島
中村		F.B	奥田	
大岡	}	G.K	川	島
	7	F.T	5	
	1	C.T	1	
	0	G.T	1	
	0	P.T	0	
得點				
	4		0	
	2		0	
	6		0	

審判—小出靖彦氏

概評をと依頼されたが斯うゆう種類のは私の柄でもなく又能く爲し得る所でないから、概評とか言ふ意味でなく唯感じた事思ひついた事を誌して責を果したいと思ふ。尙以下は私個人の觀戦記で到らぬ處、不當な點があるかも知れず、出鱈目を言ふなとお叱りを受けるかも知れないが、此點は御注告を戴いて参考に致し度く、暫く御容許の程を願ひたい。

慶應は從來テクニクに於ては早稲田に劣つてはゐないが泳ぎに弱い爲結局負けたと言はれて來たが本年はスピードにも耐力にも早稲田に遜色なく最後迄泳ぎ負ける事なく闘ひ6對0で大勝した。早稲田チームに對し前半4點後半2點の得點をなし而も零敗せしめた事はフオワード、バック共に優れたチームと言ひ得やう。

試合を通じて慶應チームはフローティング・フオワード・システムを極端に生かし、之に關聯してゴール前の防禦はバックがゴール・ライン近く迄退がりゴールキーパーと並列してゴールを死守する戦法

を採り、之に對し早稲田チームは從來通りに別に變つた處も見受けられず、慶應のフローティング、並にバックを潰し得ず前半4點をリードされ後半にはあせり氣味となり、好機會を屢々掴みながら決定的なシュートをなし得ず、無念の涙をのまねばならなかつた。

慶應チームは今シーズン大分戦法に變化を來した事は水球リーグ戦中目立つてゐた。今日もフローティングの和田(C.F)を敵のゴール前に置いて球を集中してゐた。和田は最近體重を増し本日の威力は堂々たるものでガツチリマークされながら正確なシュートをなし得て

8回のシュート中6點を擧げてゐた。後方から送られた球の好パスであつた事も見逃せないが、あれだけに出れば立派なフローティング・フォワードで試合後早稲田の先輩をして今日は和田にしてやられたと嘆かした程であつた。それから和田はゴール・キーパーに球が渡り相手のバックが球を受けに飛



吳越兩軍の先輩に挟まれて早慶水球戦を見る水球コーチフロイント氏(N. S. R. 平岡氏撮影) 右 笹島氏(K) 左 岡田氏(W)

出しても追はなかつた。今迄はフォワードはバックに抜かれることを危険視して來たもので、見なれた眼には奇異な感を抱かせるが、フローティング・フォワード・システムを採るならば追はずにゴール前に残るのが本當であらう。又早稲田側もゴールキーパーからボールを受けて抜いて出てフォワードにパスしても逆チャンス慮つてゴールキーパーが大聲で歸れ歸れと呼戻してゐた。之は當然な事で慶應のバックは敵にフォワードが抜かれたと見ると、マークをはづして後退し出し、シュートゾーンに敵が這入る頃には、全々マークをはづしてしまつて、ゴール前にキーパーと並列してゴールを固守する戦法を採つてゐるのでシュートし損こなつた時には急激な反撃を喰はされる譯でフローティング・フォワードをノーマークで置いては間に合はないからである。

早稲田はバックが球をゴールキーパーから受てドリブルし、フォワードにパスしてゐる間に、慶應の

バックは上述の様に後退したので、早稲田側は完全なノーマークになり、強シュートを試みてゐたがゴールを陥れる事は出来なかつた。今日迄こんな場面は稀で早稲田側も面喰つた事と思ふ。あの様にゴール前に2、3人並列して守られては單に強シュートした丈では得點は無理で餘程の掛引を要し、虚を衝き正確に狙はねばならない。新聞が強引なシュートをしてゐたがはたき落されてゐた。慶應の採つた防禦には今迄練習されて來た基礎的なフォーメーションでは效力は薄く、もつとゴールに突込むべきである。相手にタックルされる寸前迄行き、そのタックル

し來るのを外して押込む様にしたらと思はれた。兎に角今後問題にし研究すべき事項でなければならぬ。最後のドタンバ迄追詰めながら失敗した即ち決定的シュートの出来なかつた早稲田はバックは球を受けてセンター・ライン近く迄ドリブルして出る可きではなかつた。此のドリブルする間に慶應のバックに防禦

の體制を準備させる時間を與へる事になるので球をゴールキーパーから受けたら出来るだけ早くフォワードにパスして、相手に防禦體制を採る時間を與ふべきでなかつた。新聞、越川等が素早くスタートを起してマークを逃れ、バックは早くロングパスを送つて機敏にチャンスを活かしたら零敗を喫つせず済んだであらう。

早稲田チームは毎回センター・ボールを取りながら慶應チームのバックの出足早くフォワードはマークされて慶應チームのフォワードに迫られて餘儀なく前方にパスしてゐたが、もつとマイボールを大事に取扱べきである。早稲田チームのフォワードは敵のマークを脱し得ず一般にシュート弱く、又コーナーを狙ひ過ぎてかゴール外にそれる事が多かつた

結局慶應チームはフローティング・フォワードに成功し、早稲田チームは決定的なシュートが出来ずその差が6對0と表はれて來たと言へるであらう。



(慶大北田君・バックスプリング) (N. S. R. 柴田氏撮影)

## 早慶飛込競技

飛板飛込			
1.	小柳富男(早)	139.38	
2.	瓶子嘉己(早)	115.17	
3.	北田舜次(慶)	109.56	
4.	加茂正美(早)	107.88	
5.	杉原雪夫(慶)		
6.	矢野幸松(慶)		
得点	早大(15)	慶大(7)	

高飛込			
1.	小柳富男(早)	104.72	
2.	瓶子嘉己(早)	81.92	
3.	矢野幸松(慶)	76.47	
4.	北田舜次(慶)	75.59	
5.	加茂正美(早)	75.05	
得点	早 14→29	慶 7→14	

## 早慶戦の飛込を観て

生江哲太郎

昭和13年度劈頭を飾る水上競技早慶戦は、2年後

にひかえた東京オリンピック大会への第一次的標準を得る意味に於て、競泳、水球、飛込を語る者にとっては見逃す事の出来ぬ競技であり、昨冬からの種々な各部門の練習プランの結果が如何なる効果を齎したであらうか、に就いても最初のテストとなるものであつて関係者には重大な意義を持つものとして注目されたのは勿論である。

私は当日の飛込競技の審判をした関係から、少し感じたままの事を書いて見たいと思ふ。

飛込競技の結果は戦前の豫想通り早大小柳君の飛板、高飛兩種目一位獲得によつて優勝を決定的なものとしてしまつた。が、全般を通じて此の競技を考へると、シーズン最初の競技と言ふ、出揃はぬ、物たりぬ感が深く従つて一、二を除いては特筆すべきものもなく、私の期待が大きかつただけに淋しい内容で終りを告げた様に思はれる。

さてこゝで飛板、150 點代の人、高飛 120 點代の人の事は暫く置いて、飛板 120 點、高飛 100 點以下の人々に就いて考へて見たい。

一體1ヶ年間のたゆまぬ練習に依つて得た進歩は幾何であらう？

私は點數で表はすならば 14、5 點の向上は必ず成されるべきであり、無理な要求ではないと考へる。諸君等が各種目に 1 點の進歩を計るとすれば、それで良いものであつて、現在 8 點、9 點の飛込の強化も必要であるが、5 點、6 點の飛込を其のまゝにして置く従來からの悪習慣は此の際是非改良して欲しい。諸君等が現在自個の飛込に就いて考へるならば明瞭である様に、現在の日本の飛込界一般の傾向は殆んど全部の人が不平均な得點に甘じて居り、言ひ變へれば 8 點の飛込も持つてゐるが、4 點もあると云うが如く、これが飛込競技發達の上に及ぼす損失は非常に大であつて、日本の飛込界の世界進出をさまたげる根本をなすものである事は私のみならず諸君に於ても、既知の事實であると思ふ。にも不拘、來る年も、來る年も結果から見ると、同様の失敗を繰返して來た今日、先づなすべきは各種目 1 點の向上と審判點の平均をはかるべきではなからうか。

次に出場選手各人に就いての感想を述べて責を果したい。

小柳君へ

シーズン最初の競技成績としては良の部に屬し然かも飛板に於ける当日の得點合計は君の競技生活中の最高のものであつた。が然し今年こそ 140 點臺進出への野望を遂げる絶好なる時である事を忘れてはならない。爆弾、爆發せよである。



### 瓶子君へ

得て競技の場合には自個の理想の飛込を捨て、勝たんが爲の！失敗をふせがんが爲の意識的な飛込を行ふ者が多い中に、君は實に立派であつた。願はくばとの意氣を以て總ての種目の完成に力を注いでもらひたい。君の大成は目前にあると確信する。

### 北田君へ

今年が一番進歩をする人と堅く信じてゐたが、試合の成績は悪かつた。

立派な體格と神経を持つ君は絶對なる二條件を備へてゐる。残る、氣力、精神力の完備こそ君に與へられた宿題だ。駿馬いらだつなと言ひたい。

### 加茂君へ

君も北田君同様、天與の體力と均成美に恵れた體格の所有者だ。而かも日本人ばなれのした一種特別な味を持つ人として君の存在は異彩だ。好漢大いに自重して現在の弱點を補はれ、練習に、體驗に、物を言はせて完璧を期さう。

### 矢野君へ

君は飛込界に身を投じてより未だ日も浅いが、その進歩は非常なものだ。素直な性質は技術にも表れて無理の無い飛込は好感を持たせる。

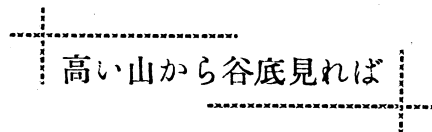
君には今後幾多の機會が待つてゐる。その度毎に得た體驗をよき友として向上しよう。

### 杉原君へ

一軍を統率する君の立場には勿論一考を要するものがあるが、自個の飛込技術の發表に就ては未完成だと思ふ。技術、觀念に於ては既に一派をなして居る君故に一事苦言を呈すると同時に成果を收め得なかつた事に就いては同情にたへない。

### 微を閉ぢ漸を防ぐ

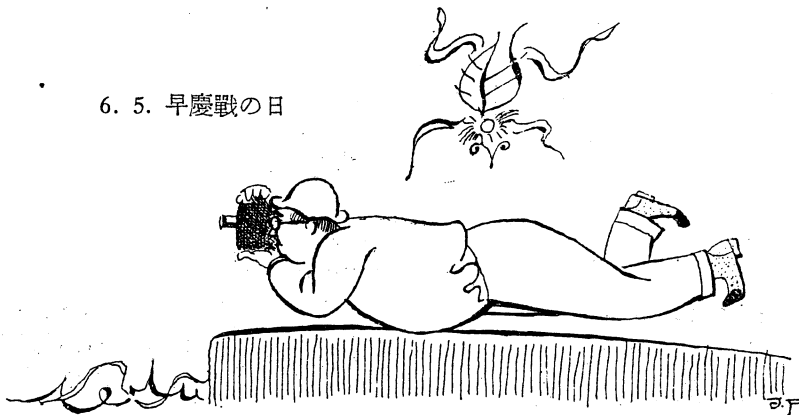
三大學對抗戦の日、田畑審判長のポケットが随分脹らんでゐるので「何が入つてゐるんですか?」「うん、こりやホキツスルだよ、ねー君、試合毎に一つ一つ持つて歸るもんだから随分たまつてね、今日は返さうと思つて持つて來た所さ」「いくつ持つて來ました?」「うん二つだが、家にはまだ澤山あるよ、あゝ暑い々々、今日は全く暑いねー」と



三大學對抗の日、明大の先輩が帝大の先輩に向かつて「今迄帝大關係の人々が、野球等の試合を雲は天に在り、水は壺に在りと云つた心境でのんびりと觀戦するわけが分らなかつたが、今日始めて分つたよ」と、左様高い山からプールを見れば日大と立教の花盛り。ほつとけ、ほつとけ。

### 腹で撮影する松澤さん

6. 5. 早慶戦の日



福島順之助氏に松澤氏の寫眞を材料にして描いてもらひましたが、この次から方々へ出動することにしました。御用心、々々々、(X)

# 立、日、明、三大學對抗水上競技大會

(13-6-2)

於 神宮プール

氣温 22° (雨)

水温 20°

今年度の三大學戦は常識的に日大と立大の争覇戦であつた事に間違ひない。葉室君を中心としたベテラン組に加へるに各種目に互つて頼り甲斐のある新人群が打つて一丸となつてYMCA、帝大合同練習と團體的練習を積んだ日大チーム、一方新人にこそ恵まれなかつたが、百戦錬磨の闘士で固めて間隙のない立教チームも日大と同じ準備をなして來たのであつた。一般的には兩校の争覇に興味が集り、特殊的には既成の一流選手に對して潑刺たる新人が如何に戦を挑み中央水泳界に輝かしい門出をなすか、早慶戦に於ける新人群の素晴らしい活躍の跡をうけてこの戦ひに求むる價值があつた。やゝ詳細に試合の豫想を書くに「大體に於て日大は立教の短距離、背泳に於ける如き大量得點は平泳のみに期するのであるが各種目に上位入賞可能と見られる選手を持ち立教が平泳に大浦たゞ一人を頼む際に喰ひ入つて平均得點を重ねることにならうが、立教が800 繼泳の一位確實と400、800 に本田、鶴藤、本間、市野と多士齋々である點に本年度も覇權確保が有望視される。

日大が平泳の得點に400、800の一位獲得、更に背泳鷺谷の活躍とを見れば100、200の自由形に三位以上を狙つて覇權へと逃げこめさうであり、立大は400、800に違算なく、背泳に坂本に次いで2、3位を奪ひ劈頭の300混繼泳に一位となれば三連覇は確實」と兩校主將の抱負談を借りて都新聞の原氏が云つて居られる。

當日は試合前から雨となつてプールコンディションは悪い方と思はれる。そのために影響された人がゐる事も當然想像出来る。

新しい試みとして戦前の豫想を戦の跡の記事と共に並べた。豫想の確實性を驗さんとする意志では決してない。一つの戦を時間的に見る時、試合の豫想乃至は作戦計畫と實戦と戦の回顧と三つに分けて考へられる。そこで、前述した如く新しい試みとしての戦の觀方として豫想欄に貴重な頁を割いた次第で、ひとりよがりの點は切に御海容をお願いした

い。尙材料は全部帝都の大新聞から拜借しました。

## 300 m メドレーリレー

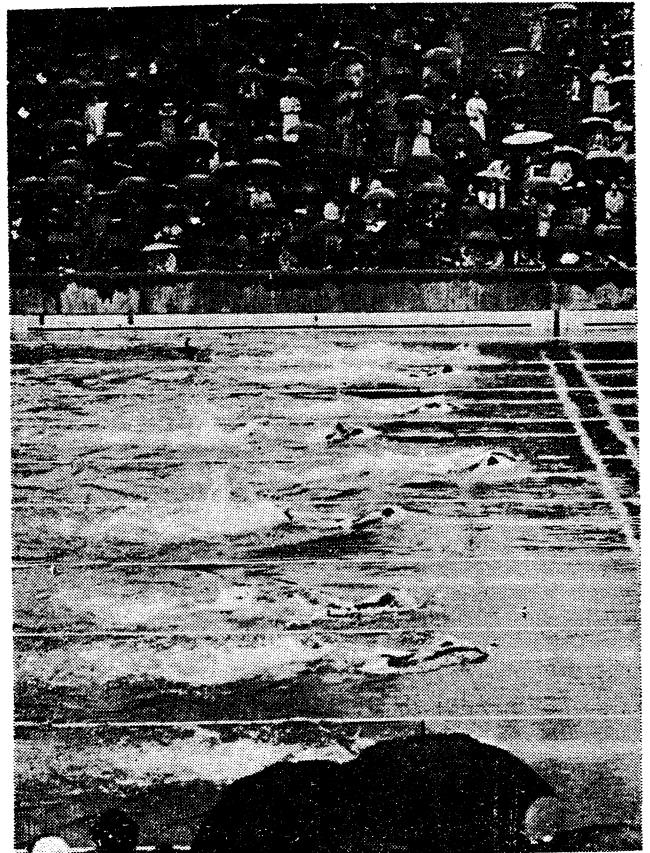
- 1) 日大 (鷺谷、葉室、佐々木) 3; 24,8 大新
- 2) 立大 (坂本、大浦、新井) 3; 26,4 大新
- 3) 明大 (藤堂、野田、大城戸) 3; 49,6

(豫想) 坂本が鷺谷を如何に離すかによつて大浦と葉室の差に影響し更に葉室の逆リードを繼いだ佐々木を追ふ新井の追泳が効を奏する。即ち2秒以内の差だつたら新井の追泳に期待できる。兩軍互角の力で劈頭の試合だけに物にしたい所。

(實戦) 鷺谷は良く坂本と拮抗、葉室2米の差をつけて佐々木へ渡す、佐々木好調裡に新井を寄付けず日大幸先き良きスタートを切る。

得點 日大 (5) 立大 (3) 明大 (1)

## 800 m 自由形



800米自由形スタート直後、上ヨリ本田(立)栗原(日)河野(明)岩切(立)天野(日)水野(明)本田(立)越戸(日) (朝日新聞社撮影)

1. 天野 富勝 (日大) 10;09,0
2. 本間 俊夫 (立大) 10;36,8
3. 栗原 徹 (日大) 10;36,8
4. 越戸 優一 (日大)
5. 本田惣一郎 (立大)
6. 河野 隼 (明大)

得点 日大 14→(19) 立大 7→(10)  
明大 1→(2)

(豫想) 天野、本田、本間の 10 秒臺に於ける一位争ひに興味を持たれ、栗原、越戸、或ひは馬場が、残る 4、5、6 位へ如何に喰ひこんで、試合を有利に進めもつて、短距離に豫想される少い得点をカバーして優勝への路を開くか、又明治の河野の活躍も期待の一であつた。

(實戦) 天野最初から元気で飛出し文句なしに勝つ2位以下は1コース2コースの本間、栗原及び7コース、8コースの本田、越戸の四人がしばらく雁行し

て競合を演じ 200 では天野に 6m おくれて本田、越戸の接戦、300m では本間出て本田、越戸雁行、400 では天野約 12m リードして、本間、本田、越戸、栗原とつづく、500 で天野と本間の差 20m、本間と栗原組と本田、越戸組との差約 3m で天野 25m リード、本間は栗原に先んじ本田は越戸に先んじてコースの両端で二組の日、立戦が展開、700m では天野約 30m リード、栗原は本間に喰ひ下がつて差約 3m 越戸は本田に喰ひ下がつてその差約一體身、700 では天野本間、本田、栗原、越戸の順で入る。天野は悠々と 1 着、残る 2、3、4、5 位を日大二人、立大二人で競合ひ、結局、上記の如き成績となる。尙天野のラツプは

1.08.0.:2;23.4:3;40.2:4;58.0:6;15.6:7;34.0:8;53.4

## 100 m 背 泳

- 1) 谷口 利弘 (日大) 1;11,6 大新
- 2) 阪本 响一 (立大) 1;12,0 大新
- 3) 鷺谷 光明 (日大) 1;12,8 大新
- 4) 河野 通廣 (日大)
- 5) 門屋 桂 (立大)
- 6) 山田 薫 (明大)

得点 日大 14—(33) 立大 7—(17)  
明大 1—(3)

(豫想) 坂本が、8、9 秒臺で 1 位を確實に豫想され、谷口、鷺谷が如何に坂本を追ふか、更に 12.3 秒臺に河野、門屋、平賀、山田等が上位を目指して混戦となるか、得点では日大やゝ優勢、

(實戦) メドレーに、1;10.8 を記録しながら坂本はこのレースでは 1:12 を要して 2 位におちる。前半は門屋、鷺谷リードしたがターンして後谷口出て来る。坂本も門

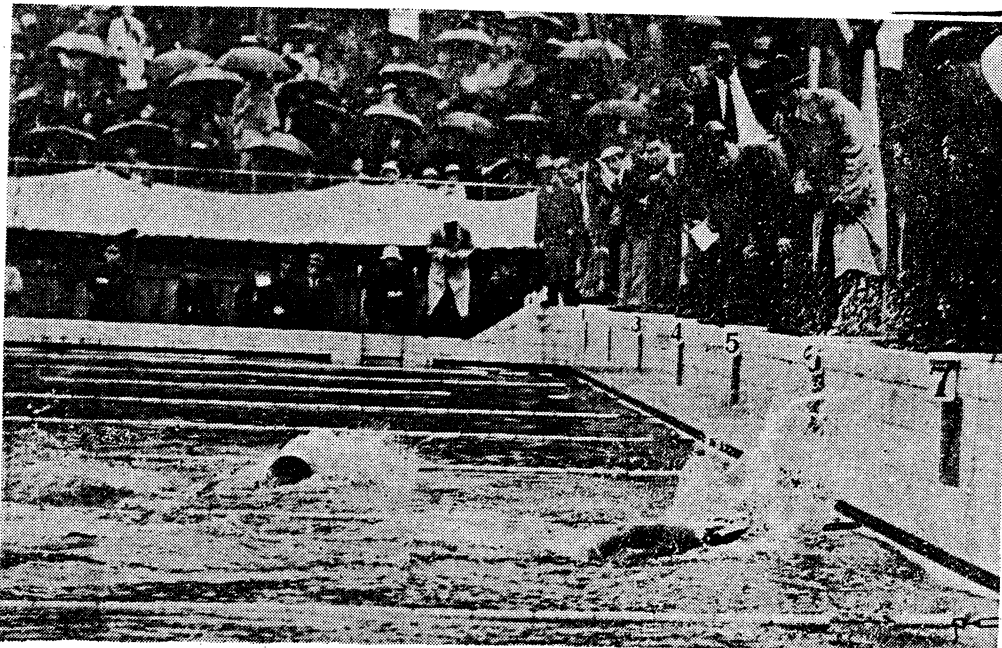
屋、鷺谷を抜いて谷口、坂本コースを隣にして接戦、1 ストロークの差で谷口勝つ、河野もよく門屋を降して 4 位に喰ひこみ、日大こゝでも立教を 7 点リード、

## 200 m 自由形

- 1) 佐々木 孟 (日大) 2;15,4
- 2) 田口 正治 (立大) 2;16,8
- 3) 新井 茂雄 (立大) 2;17,4
- 4) 馬場 止 (日大)
- 5) 平野 亮 (日大)
- 6) 鶴藤 俊平 (立大)

得点 日大 12—(45) 立大 10—(27)  
明大 0—(3)

(豫想) 立教書入れの種目で、新井、田口、鶴藤を揃へて完勝を狙つてゐる。新井 14 秒臺で 1 着、田口が



200 米自由形 (1) 佐々木 (日) ゴール、續くは田口 (立)

(朝日新聞社撮影)

16秒臺で2位、3位は佐々木と鶴藤が18秒臺で接戦、佐々木の好調が傳へられるので田口も安心して泳げまい。

(戦實) 新井猛烈なダツシュで100を1:01.0で泳ぐ、田口、佐々木之れにつづき、150で新井が浮ぐや佐々木はじりじりと迫つて、ゴールに近づく程疲労して来る新井を抜き、田口も抜いて意外の1着で大功を建てる、鶴藤はフォーム悪く、馬場、平野に敗る。戦後、審判席にゐた慶應の宮崎君と日大出の遊佐君が、新井の失敗は矢張り前年の出すぎた飛出にある。1分2秒位で入つて後半に餘裕を残しておくべきだと語つてみた。

### 200 m 平 泳

- 1) 葉室 鐵夫 (日大) 2;45,8
- 2) 大浦誠一郎 (立大) 2;48,4
- 3) 林田 陸夫 (日大) 2:49,2
- 4) 田口 實 (日大)
- 5) 山口 正保 (明大)
- 6) 野田 務 (明大)

得点 日大 14 (59) 立大 5 (32)  
明大 3 (6)

(豫想) 葉室に45秒内外の期待をかけて1着、2着は48秒臺で大浦に豫想され、田口林田と豊富な人材を擁する日大と、明治の大きな希望である山口、野

田が如何にして3、4、5、6位を占めるか、若し明大の二人が上位に喰ひこめば優勝を狙ふ日大にとつては大きな違算となる。

(實戦) 大體豫想と同じ結果になつた。50秒を割つた林田のカムバック振りは見事であつた。野田に元氣なし。

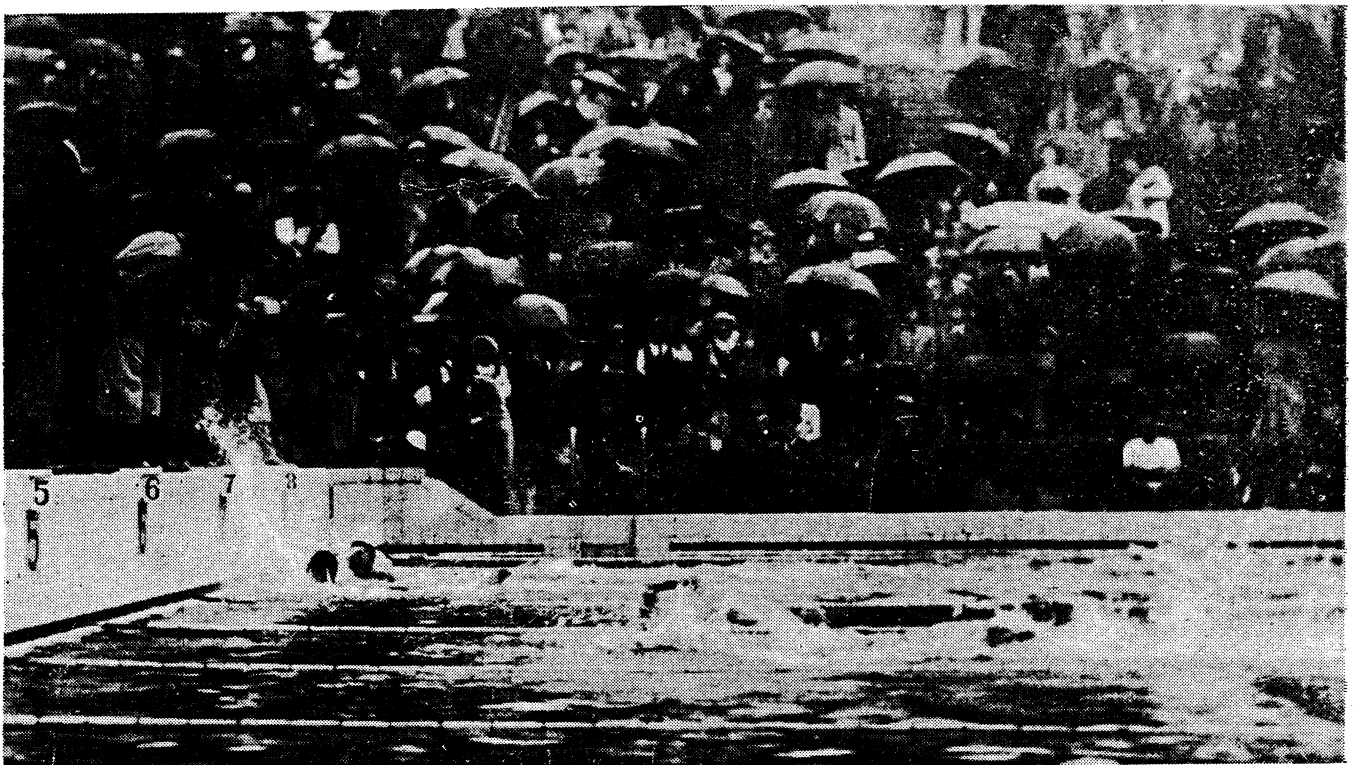
### 400 m 自 由 形

- 1) 天野 富勝 (日大) 4;55,0
- 2) 本間 俊夫 (立大) 5;01,2
- 3) 馬場 止 (日大) 5;01,2
- 4) 栗原 徹 (日大)
- 5) 本田惣一郎 (立大)
- 6) 鶴藤 俊平 (立大)

得点 日大 14 (73) 立大 8 (40) 明大 0 (6)

(豫想) 天野が55秒臺で1着を豫想され、立大は本間が最も有望視され或は5分を割つて天野へ迫ることも豫想される。日大は栗原、馬場或は越戸が800同様大量得点を狙ひ、明大は河野の入賞期待を懸けてゐる。

(實戦) 勢ひに乗つた天野は確實なペースで飛出し、200ラップは2;22,2で、早くも他を引離して強引に勝つ、本間辛くも栗原を押へ本田の懸命な力泳にも不拘馬場に破る。鶴藤元氣なく、河野を押へて6着に入る。



100米自由形8コース新井(立)7コースの佐々木(日)に辛勝5コースは3着の田口(立)

(報知新聞社撮影)

### 100 m 自 由 形

- 1) 新井 茂雄 (立大) 59,2

- 2) 佐々木 孟 (日大) 59,2
- 3) 田口 正治 (立大) 1;01,0

- 4) 鷺谷 光明 (日大)
- 5) 鶴岡 榮 (立大)
- 6) 平野 亮 (日大)

得点 立大 13 (53) 日大 9 (82)  
明大 0 (6)

〔豫想〕 200 と同様新井が断然強い、58秒臺確實と云ふが 57 秒臺も期待できる。田口は 59 秒臺、佐々木も 59 秒臺を出してゐるから田口が佐々木に喰ひこまれたら立大の大きな違算である。日大は背泳の鷺谷を動員するらしく 60 秒臺で行くらしいから鶴岡より早いかも知れぬ。

〔實戦〕 新井先づ出て、佐々木之に續く、50 ラップ 28 秒で新井ターン、續いて佐々木、田口、鷺谷の順でターン、75 m で佐々木猛烈なピッチで新井を抜くゴール前での大接戦で逆に新井タッチの差で辛勝す。鷺谷は一コースにあつて猛烈なダツシュで田口を迫つたが及ばず。

### 800 m 継 泳

- 1. 立大 (新井、鶴藤、田口、本間)  
9; 15,2 大新
- 2. 日大 (栗原、佐々木、馬場、天野)  
9; 23,0
- 3. 明大 (中島、豊島、犬城戸、 )  
10; 30,2

得点 立教 5 (58) 日大 3—(85)  
明大 1—(7)

〔豫想〕 9 分 10 秒内外で立教断然優勝。

〔實戦〕 立大の第三泳着田口が 175 m より強引なピーティングをなして日大との差を確實にして本間に渡す。

天野又奮闘せんとしたが、約 8m の差で、本間に對するので頭を傾げざるをえまい。立大の勝は順調、ラップ、新井(2; 16,6) 鶴藤(2; 21,4) 田口(2; 18,2) 本間(2; 19,0)

### 合 計

日大	85	—	優勝
立大	58		
明大	7		

### —(後 記)—

五角と豫想された兩軍の力量と實戦にあらはれた力量との喰ひ違ひは古豪を擁してはゐるが新鋭少い立教に對し日大はオリンピック選手と併せて中堅のカムバックと山とある新鋭これらが各種目に漏れなくむしろ餘る程に配陣され、これらが自信一杯に泳ぎまくり終始立教を壓迫した事にある。即ち天野、

佐々木、鷺谷、谷口等は遊佐なき後の日大陣を守るに充分で、葉室主將以下粒が揃ひ氣が揃つた事、之に對する立教はナンバーワンを狙ふ選手があつても數が少い。従て勝つことのみを狙はねば得点を稼げない。100 背泳の阪本の場合の如く、自然と泳きに無理ができてくる、300 メドレーに續く 800 m も立教は抑へられて逆に日大の意氣は揚つて立大は頭を抑へられてしまつた。(白想人生)

### ク ロ ノ グ ラ フ

雨の三大學の日、御自慢のクロノグラフの威力を試すべく天文臺の橋本技師以下午前中から大騒動何しろ  $\frac{1}{100}$  秒迄正確に時計できると云ふ、エレキ仕掛のストップウォッチの事だから目と手、其他五感を總動員してクロ公を押ししても二人以上で計るときはその間に相當の誤差がでてくる。この大實驗に先づ帝大の小出、川田の兩君と日大の桑野君が當ることになつた。……一瞬の緊張……結果如何とみれば、こは如何に三人の間の誤差が  $\frac{2}{100}$  秒以内であつた。さあ喜んだ、橋本技師以下、三人の腕をほめるやらクロ公の威力を誇るやらケンケンゴウゴウ、その様まるで父ちゃん小供である。天文臺から保證つけられた小出、川田の兩君自慢さうに小出(兄)氏の所へ行くと「何あに自慢するにはあたらんよ、下手なりに固まつてゐるからだ」とは飯田さんに聞かせたい名言。

### 強 請 ら ん 哉

例のリウシヨフ大將事件の號外の鈴があはたゞし七月一日の午後四時頃、N. S. R 事務所へ某人事興信所の人がある人のおめでたい事に関して問合せに來た。

「水球をやつて居られた方ですね」……………「保證して下さいますね」と

居合せたものは藤田さんと×の二人だけ。身に覺えのある方々よ御用心下さい。

# 戦の跡を顧みて

## 早慶戦の感想

慶應義塾 小池禮三  
水泳部主將

我々水泳部員一同夢にも忘れられない敗戦の苦敗も今年は嬉し涙と共に解消致しました、入學してより毎年毎年今年こそはと思ひながら不覺にも敗れてまいりました。一昨年は田端三郎君の病氣昨年は島本君の病氣等實に情なく嫌な月日でした。

本年は渡邊龍治、片山崇、井上秀雄、中澤修等の優秀なる選手が入學して打倒早大を目ざして張り切つて川崎大師プールに合宿致しました。

5月18日より愈々合宿が始まりました。

毎年毎年選手全員の調子が早くすぎる傾向がありましたので本年はなるべく自重してやる様になりました。片山、渡邊が早く寺田高橋と肩をならべる様にしたいものだと考へておりました。

全員共に川崎引揚のときは既に敵を呑む勢でありました。山本コーチ指導の下に全員一致氣持がピッタリ合つておりました。

400米における高橋、寺田君の健闘は我々にとつてどんなに心強かつたか、この戦に於て今年は早大に勝てると確信しました。

遂に28對11にて大勝致しました。

我々が好敵手早大が居たればこそ今日の結果を得る様になりました。早大は全員まだ調子がでない時期に試合が來たのだと思ひます。

矢張り早大が一番強敵です。

好敵手早大と共に益々日本水上競泳界の向上に努力致したいと思つて居ります。(6月19日記)

## 三大學對抗水上競技

### 大會に優勝して

日本大學 葉室鐵夫  
水泳部主將

過去二年間の雌伏の後、本年大會の覇權を握り過ぎ去つた戦跡をかへりみてみやう。

我々水泳部員の三大學對抗に對する心構へと云ふ

ものに就て、二年間の雌伏の後、今年こそはどうしても勝たねばならないと云ふ非常に壓迫された氣持を戦前の練習に常に頭の中に持ち、此の氣持は私とか、マネージャーの村上君其の他の幹部選手に取つては一種の重壓となつて、勝つてみて始めて此の重壓からのがれて、勝つて嬉しいと云ふよりも唯ほつとしたと云ふ氣持の方が大きかつたと思ふ。

此の水泳部員の精神的な努力、勝たねばならないと云ふ氣持を此の様に強く持たせて呉れた原因の一、二を挙げると、昨年新入選手の養成に成功して秋のインターカレッジに大勝した。此の新入選手の養成に當つた人が當時の總務委員安永弘先輩並に其の年に卒業された豊田先輩であつた。處が昨年それ等の選手がいづれも不調、又遊佐主將も體の調子をこわして元氣なく、敗北に終つたのであります。

今年は其の雪辱のつもりで一同大いに張り切つて丁度一度召集されてゐた豊田先輩が召集解除されたのを機として水泳部監督として迎へ、又安永先輩も居を水泳部プールのある碑文谷に定め豊田先輩を助けて折から多數の新入選手を迎へた水泳部一同の意氣を更に激勵し又その指導を得ていよいよオープンシーズンに入つて、三大學、インターカレッジの覇權を目指して、練習を始めやうとした時、豊田、安永先輩が相次いで名譽の應召をされ我々の優勝を望まれる感激的な惜別の辭を残して征途につかれたのであります。

今日優勝して、先づ一番に頭に浮んだことは此の喜びを兩先輩と共に分ち合ひたいことでした。而も兩先輩が新入生として育てた佐々木、谷口君等が中堅選手として輝かしい成績を擧げ得たこと等どんなに喜んでいただけたか知れません。

先づ此の優勝への第一歩は、兩先輩の出征に始まるものと信じます。

5月15日より、オープン50米コースに於ての正式な練習を始め、25日より午前午後の猛練習に入つたのであります。

此の間我々責任者が常に氣を付けたことは、全選手が新入生と同じ様な唯ひたすらに向上を目指した張り切つた氣持を持つことと、他に於いて余りにも勝負に對する責任からくる重壓の爲に氣分が疲れることの無い様に出来るだけの余裕を持つ様に勉めた

のです。

殊に今年からは相當の選手の増加により水球専門の選手を作ることが出来、シーズン始めより水球リーグ戦に備へての練習も従来見られなかつた様な眞面目さを見せそれ等水球専門選手迄が競泳選手の練習に伍して相當熱心な練習をして優秀なタイムを出すに到りました。

又水球リーグ戦に於ても、帝大、立教を取り三位に躍進し、其の影響は當然競泳の方へ氣勢を添へる結果となつた。

此の間、新入選手の養成に就て一層の注意をかたむけ 25 日正式の午前、午後の練習をする合宿練習に入る第一日、當日迄の練習の結果を見、更に今後の練習の参考とする爲にレコード會を開き相當の自信を得て、25 日から 5 月中は、新入選手、其の中堅選手に自發的に、起床後體操を終つてから朝食迄と、夕食後 7 時頃から 8 時頃迄、照明燈を點けて練習をする様になつた。此の練習時間外の選手の自發的な練習は技術的にも精神的にも非常に好い効果を擧げたと信ずる。然し此の練習が一應の效果を得たならば練習量多量の爲の疲勞をさける爲に 6 月に入ると直ぐに禁止して、毎日の練習時間に於ける練習に依つて効果を擧げる様に努めた。

6 月 5 日、水球に立教を破つて氣勢を擧げ、早慶戦に於て、選手の意氣に於いて勝れる慶應チームの優勝を見るに及んで、今日日大水球部の氣持を持つて行けば必ず勝ると云ふ自信を益々深めた。然しメンバー交換當日等の豫想は到程勝敗を豫斷することは出来なかつた。

6 月 3 日、立教と同時にレコード會を催したが余り感心出来る様なタイムが無く少からず不安を感じてゐたが、其の後、土曜日水球の爲まとまつた練習をせず日曜日は水球、早慶戦の爲全々練習を休んで、月曜 6 日から全般にわたつて素晴らしい調子を出し始めた。佐々木、谷口、林田、田口の中堅選手、天野、栗原、越戸、馬場の新人長距離陣及び鷺谷君等がいづれも好記録を出してゐた。

そして其の後の木曜日は自由練習として各自の調子に依つて、泳ぐ者もあり泳がない者もあつた其の日松澤一鶴氏より金、土曜日を練習を落さず而かも神宮プールで日大プールでやつて居たと同じ様な練習をやつたらよからうと云はれ、練習は落さないつもりでしたが、更に神宮プールへ行つて同じ様な練習をやり、土曜日は、午前を日大プールで相當量を泳ぎ、午後神宮プールでは各人 200 米と、スタート、リレーの引継ぎをやつてさつと引上げた。

いよいよ試合當日降雨になやまされながらも相當の好記録を出して勝つことが出来ました。

私は 30 0 メドレーで勝つた時、既に勝ると云ふ自信は付いた。其の後の戦跡は御承知の様に豫想以上の好成績で、或は主將たる私の統制宜しきを得た爲だと云ふ人もありますが、我々が勝つたのは統制ではなくて、氣持が一致して部員全體の勝利に向かつて努力したため此の榮冠を勝ち得たのであつて此の氣持を作つて呉れたのは、豊田、安永兩先輩の力、又優勝を目指して一致協力して練習し戦つた部員一同の團結のたまものと思ひます。

主將として、此の成功により、私の責任の一端を果し得たと共に、更に全日本選手権、インターカレッジ、又オリムピックを目指して責任の益々重大なるを感じます。

最後に選手各個人に對して評してみますと、

**先づ私は、**水球に出場した爲に足の具合が上手くゆかず、水のキャッチが悪く、相當フォームが悪くなつて苦心をしましたが、2 分 45 秒臺の記録は私としましては相當好結果だと思ひます。足さへ上手く動く様になれば、相當のタイムを出せる自信が付きました。力としては、水球をやつたお蔭で更に腕の力を増したと思ひます。

**佐々木君、**同君の泳ぎは相當立派なもので、短中距離型として、現在日本一と思ふ。練習中、100 米 59 秒 2 迄出し、1 分はしばしば切つて居るので、試合に於ける精神的な方面を今度の成功によつて鍛練して、又 200、400 米に、更に練習の努力をしたならば、100 米に 58 秒、7 秒を、200 米に 2 分 10 秒前後を出すことも決して困難ではないと思ふ。

**谷口君、**試合度胸は日大で平野君、私と共に、相當なもので、メドレーの結果を見てひそかに 100 米の優勝を豫期してゐたら其の通りだつた。秋吉君にフォームをコーチされたが、今一步フォームの研究をすれば、100 米 1 分 10 秒を割ることはわけ無いだらう。

**鷺谷君、**フォームとしては吉田君の長距離を泳ぐ時の様なフォームで、未だ研究の餘地がある。新入生としては試合度胸もあるし、自由型の方も 100 米 1 分 0 秒臺、200 米、2 分 17、18 秒で、日大としては重寶な選手である。

**天野君、**長距離陣の花形として、今夏の活躍が期待されるが、泳ぎも一寸見ると元氣一杯で泳いでゐる様であるが、實際によく見ると相當たくみな泳ぎで手のキャッチと足の具合が上手く調子が取れてゐる。試合にも強く、400 米 4 分 54 秒、800 米 10 分

8 秒、1500 米 19 分 40 秒で、此の調子で進んで呉れたならば次のオリンピックの 1500 優勝候補の随一だらう。

馬場、越戸、栗原、前二人は試合度胸が良く、場数を踏む毎に躍進が期待され、栗原君は、試合度胸を作ることさへ考へて置けば、スプリントも相當あるし、長距離を泳がせても強い選手である。

田口、林田、兩君共、もつと良いタイムを出してもよい筈である。殊に田口君は、2 分 48 秒のタイムを持ちながら、試合に調子を出し得ない。林田君は、一昨年 2 分 46 秒で、インターカレヂに優勝してゐるし、今年は、三大學で 2 分 49 秒で泳いで居るのだから、相當の活躍振りを見せるだらう。

## 日本大學水泳部

### 練習記

日本大學水泳部  
マネージャー 村上勝芳

昨年の不振を挽回する爲に本年度は冬の合宿生活を一層引きしめて節制に重きを置き例年の自由的な冬期練習を氣持の上から半ば強制的に致しました。冬期練習場所は YMCA に決め例年より一ヶ月程早く一月中旬から初め、主將葉室君以下 25 人の部員が午後 3 時から YM の體操場で 1 時間程色々な體操を行ひ、其の後 500 米位、水になれると云ふ程度泳いで 5 時頃皆一緒に歸る様にしておきました。

4 月 5 日からの帝大練習には、練習に参加する前から練習が終つた 20 日に記録會をする事を選手達に云ひきかせ、記録會には是非出場しなければならぬ様にしました。15 日間の練習の後記録會は少々無理だと思ひましたが、特に聯盟の方に御願ひしてやつて戴きました。選手達も無理だと思ひつゝやつた様ですが其の効果は充分あつたと思つてゐます。

1 月中旬以來の冬期合宿練習には朝 6 時半に起床食事前水泳部合宿所前の公園で體操をやり、朝食をすませて學校に行くと思ふ風にしてゐました。

4 月 20 日の記録會がすんでから直ぐ日大プールに水が入つたので、それから 5 月 15 日迄は朝の體操だけで後は個人の自由練習に致しました。然し新人選手には此の個人練習期間を特に有効に使ふ様に云ひきかせ、之も氣持の上で強制的に、長距離等は 1 日 3000 米、3500 米位泳せてゐました。

5 月 15 日から三大學大會に備へる爲に合宿練習

を始めました。大會まで 1 ヶ月もあるのに何故そんなに早くから合宿練習をやり出したかと云ふと、本年度の大部分の選手は新人選手であり、他の選手も去年は事の外に不調であつた事から、練習を例年より 1 週間早く致しました。然し 5 月 25 日までは合宿練習と云つても單に皆そろつて一諸に泳ぐと云ふ程度で、練習時間は午後 2 時から一回で練習量も個人練習より少なく氣持だけ合宿練習に入れた様なわけです。

5 月 25 日から午前、午後 2 回の合宿練習を始めました。此の合宿練習に入る前に、各人に大體どれ程の實力があるかと云ふ事を知る爲に、一寸した記録會をやりました所、大部分の選手は今までの帝大練習、及びオープンの個人練習で、自己の昨年のベスト記録を出し得るだけの實力を持つてゐると云ふ事が分りました。之だけの實力を持つてゐるならば例年の合宿練習の様に、多量の練習スケジュールを組む必要は無いと考へましたので、ひかへ目な練習量を取りもつばらスピードを付ける様に心掛けました。

25 日から 6 月 3 日までの練習スケジュールは、主將葉室君以下各種目の主能部が集つて作製致しました。大體此の合宿練習を 2 期に分ち、一期を 5 月 25 日から 6 月 3 日迄、二期を 6 月 3 日から 6 月 11 日迄にし、一期の期間には量よりもスピードの練習、二期は一期の練習でバラバラになつてゐる各個人の調子を試合當日にうまく持つて行く様にする爲の期間に決め、此の二期のスケジュールは 6 月 3 日の記録會後に適當に作る事に決めました。

一期に於ける合宿練習は練習量が少い爲、若い新人選手達は練習が終つた後、又は朝早くから起きて別に個人練習をやつてゐましたが、6 月 3 日までは自由に泳がせてゐました。

齋藤魏洋氏の計ひで 6 月 3 日の記録會を公にして戴き、合宿生は皆張り切つてやりましたが、あまり張り切らせた爲か當日は皆上つてしまひ、昨日のタイムも出し得なかつたと云ふみじめさでした。各人の調子も幾分低調でしたから、二期の合宿期間の内ははじめの 3 日間の練習量を上げ、4 日目はごく軽く五日目、六日目は普通に持つて行くと云ふスケジュールを立てました。之は先輩遊佐氏、主將葉室、各種目の主能者が記録會の直後作り、その翌日此のスケジュールを選手に發表し、皆協力して此のスケジュール通り一生懸命やると云ふ氣持を選手達に持たせました。



大會前1週間のスケジュールは

6月4日(土)午前

長距離 1000米 200米 25 ダッシュ5回  
 短距離 800米 100米 25 ダッシュ5回  
 平泳 800米 100米 25 ダッシュ5回  
 背泳 600米 100米 25 ダッシュ5回

午後の練習は水球試合の爲中止

6月5日(日曜日) 水球試合の爲午前練習中止  
 午後は早慶水上競技見學の爲練習中止

6月6日(月曜日) 午前

長距離 400米 800米 ダッシュ25米 3回  
 短距離 400米 200米 ダッシュ25米 3回  
 平泳 400米 150米 ダッシュ25米 3回  
 背泳 400米 100米 ダッシュ25米 3回

午後

長距離 1500米 100米  
 短距離 200米 100米 400米  
 背泳 200米 800米 75米  
 平泳 200米 300米 75米

6月7日(火曜日) 午前

長距離 1000米 400米  
 短距離 400米 400米  
 背泳 400米 100米  
 平泳 400米 250米

午後

長距離 1500米 400米 ダッシュ25米 3回  
 短距離 1000米 100米 " "  
 平泳 1000米 150米 " "  
 背泳 400米 100米 " "

手足を普通以上にやる

6月8日(水曜日) 午前

長距離 400米 100米 ダッシュ25米 5回  
 短距離 400米 50米 " 2回  
 平泳 400米 75米 50米  
 背泳 200米 200米 100米 50米

手足普通以上

(午後)

長距離 800米 400米  
 短距離 100米 200米  
 平泳 200米 100米

背泳 100米 200米

足手を軽く

6月9日(木曜日) 午前

自由練習

新人選手は出来るだけ練習する  
 主に老選手は休養す

6月10日(金曜日) 午前

長距離 200米 400米 ダッシュ25米 2回  
 短距離 200米 200米 ダッシュ25米 2回  
 平泳 200米 400米 ダッシュ25米 2回  
 背泳 200米 100米 ダッシュ25米 2回

手足を自由に行ふ

午後

背泳 400米 75米 ダッシュ25米 2回  
 長距離 800米 200米 " "  
 平泳 300米 200米 " "  
 短距離 200米 150米 ダッシュ50米 2回

6月11日(土曜日) 午前

長距離 200米 400米 ダッシュ25米 2回  
 短距離 200米 200米 " "  
 平泳 200米 400米 " "  
 背泳 200米 100米 " "

午後

長距離、短距離、平泳、背泳、各々  
 200米 力泳する

各人練習種目は自由に選ぶ。

6月12日(月曜日)

午前 起床 8時

午前中は軽く泳ぐこと

以上

全合宿練習を通して「ウォーミングアップ」無し、  
 以上のスケジュールで6月8日にはすでに各人に  
 そろそろ調子が出て来ました。

10日、11日の練習は特に新人選手の多い日大  
 では場所なれをする爲に二日間の練習をそのまま神  
 宮水泳場で行ひました。これは松澤一鶴氏の御注意  
 でやりましたが、それが爲に新人選手は試合に於て  
 も大して氣取けする事なく、充分に實力を發揮する  
 事が出来たと思ひます。(6月16日)

×

×

×

×

×

×

×

×

# 新 人 群 初 陣 感 想 記

## 早稲田大學水泳部

杉 田 芳 郎 (中京商出)

輝かしい歴史と傳統とを誇る早大水泳部に入部し、今又我が水上日本の王座を占め、又日本水上市界をリードして行かむとする早慶二校の對抗競技に出場出来たと云ふことは、私の最も喜びとするものです。先づ試合前からの自己の調子を辿れば5月22日より東伏見早大プールに於て2週間にわたる合宿練習を致しました。最初の1週間は普通の調子でタイムも中學時代のベストタイム迄漸く達した位なものでした。然るに九日目頃より頗る調子が出、これなら早慶戦の100、200には得点し得るぞと自信が持てる様になりました。そんな具合で、大會前とて疲勞せず好調でした。試合前夜とて余り興奮せず10時頃には就床しました。當日朝一寸ウォーミングアップを行ひ合宿より神宮に向ひました。神宮に着き、入場式に出たとたん急に心に動搖を感じました。

100米自由型に出場しスタート臺に立つた時觀衆の聲援にあふられ「ブルツ」と震ひました。間違ひなく上つてしまひました。然し人に勝たなくても良い、唯、自己のタイムに勝たう。との、この心だけはありました。100米も遂にスタートしました。前半一人も見えず後半は全部の選手を見ることが出来ましたが、前半頑張らずにゐたにも拘らず精神的疲れか40米邊より疲勞を感じ50米のターニングの時も岸が白く見えたので近いと思つて手を出したがタッチ出来ず頭を上げると未だ1米あつた。之で完全にターニングは失敗してしまひました。後半の50米はシヤムに頑張りました。25米のラインが見えた時ハツと腰を安定させねばとフォームが崩れてゐる事に気がつきましたがもう遅く遂に入選し得ず残念でした。「次の200こそ」と思つてあきらめました。重なる敗因としてはアツプの時ターンの所に氣も止めず泳いだことだ。兎角スタートして前半後半共思ふ様な調子もとれず苦しかつた。

200米自由型は前に100米に負けた時の事を思ひ起しプールの調子も知り今度は樂な氣持で前半大部セーブして行き150米迄ペース以下で泳ぎ、ラスト20米邊より頑張つたが遂に抜き得ず3着でした。此

のレースに於ては體の調子も出た様な氣も致しました。最後に800リレーにトツプを泳ぎましたが何だか前の200より樂な氣持で泳ぎました。

早慶戦に初出場いろいろとレースの氣持など體驗し、將來の参考ともなり非常によい經驗をしました。今迄は中等選手として大會にも出て居りましたが、記録のことは重視せず唯單に勝敗に重きを置きました。今からは勝ち、そして好記録を出さうと心がけようと思ひます。此の早慶戦に出場する爲め練習に練習を積み、晴の大會に好成績を得られなかつたことは残念でありませんが、前に記したことがせめてもの慰めと思ひ今後は大いに努力するつもりです。

何卒先輩諸氏の熱ある御指導と御鞭撻を御願ひして感想文に代へたいと思ひます。

## 日本大學水泳部

天 野 富 勝 (鞍手中出)

今日突然桑野氏から三大學水上競技大會の感想を書いて呉れと頼まれたので二つ返事で承諾したが、それを機關雜誌水泳に載せると聞かされて光榮やら迷惑やらどつちとも判然と區別のつかない妙な複雑な感情に捉はれ、全神經が緊張しすぎてペンが意の如く動かない。之が若し水の上だつたら、思ふ存分得意のクロールで泳ぎ廻はつてやるのだが相手が苦手の原稿用紙では……「河童の川流れ」とは此の事を言ふのだらう。此んな結果になるんだつたら引受けるんでなかつた。後悔よりもつくづく自分で自分が恨めしい。元來意見を、感想を衆人の前に駄文で吐露するのが後にも先にも初めてなのでペンの震へるのは無理からぬ事だ。過ぎたるは及ばざるが如しとか、誰しも自らの過去を追想したくはないと思ふ。過去を追ふ者は退歩する。然し三大學優勝!! あの日あの時の感激だけは別だ。無理でも過去にしたくない。あの日、あの時はあの感激を將來に迄延長させたい氣持で一杯だつた。然し今冷靜になつて考へると勝つた、負けたの感激も、朝日の前の露の如く腦裏から消へさつたのは不思議だ。規律

攝生して練習した。勝つ!! 勝つ爲の努力の精進こそ、なにものにもかへ難いものゝ様に思はれてならない。

### 越 戸 優 一 (盛岡中出)

シーズンに入り日大プールにて葉室主將始め諸先輩の御指導の下に三大學對抗水上競技大會に備へる爲合宿練習にいそしみました。この合宿練習は自分にとって最初の経験であり、亦未だ嘗て味つた事のない苦しさでした。其の苦しみの中にも選手一同奮然一體となり親しみ、楽しいものがありました。自分はこの味はつた事のない練習は苦しかつたが何かしら希望に満ちて居ました。

試合には微力ながらも一生懸命やりました。あの優勝の感激。圓陣を作つて校歌を歌ふ時の感激。これらの感激を忘れずに、これからも一生懸命の四字を守つて頑張るつもりです。

### 河 野 通 弘 (加治木中出)

三大學の合宿練習ほど苦しくそして楽しい練習はありませんでした。

午前午後2回の練習は自分のペースすら知らなかつた私が少しでも自分の記録に對して自信を持ち得る様になつた事は全く三大學の合宿に依るものと思ひます。

合宿練習開始直前豊田先輩應召せられ、續いて安永先輩の應召があり私等はこの先輩諸氏への贖としてでも懸命に練習し優秀なる記録を作らねばならぬと懸命に泳ぎました。

又之から先も日本大學水泳部選手として名を恥かしめさる様練習致します。

### 鷺 谷 光 明 (宮城工業出)

主將葉室氏並びに諸先輩方の練習と自分の今まで信じ行つて來た練習とをこの合宿中行つて見ました入學して氣付いた事は昨年宮城工業時代來た時の合宿の空氣と全く反對な主將以下我々に至るまで一意優勝に猛進して居る純眞な氣持で一杯でした。

豊田先輩安永先輩と相ついで出征なされて名譽の聖戦に参加され日夜國家の爲に働かれて居る事を思ふと、吾等が好記録を出す事が先輩諸氏に取つて最高の慰問であると思ひ戦場にくらぶればその萬分の一にも及ばぬ練習ですが懸命にやりました。そうして我等新入生として入學以來始ての試合に於て先輩諸氏の御指導によりこの記録を出し得た事は私の最高の名譽とする所です。然し今後益々節制し懸命に

努力して水泳日本の名に恥ぢぬ様に致します。

### 馬 場 止 (粟太農出)

私は日大水泳部に這入つて以來主將葉室様を始として其の他先輩諸兄の練習振りを認識し否遵守して参りました。或は眞面目にといふおこがましく成りますが少し位はそれに近づき得たと思つて居ります。まだ日の浅い自分ではありますが彼も人我も人、人のやる事が自分に出来ないはずはない、必ず人のやる位な事だけは自分もやるそして日大の選手たる名譽に背かぬやう飽くまで頑張る決心で居ります。私の練習の心掛へはそれでした。強敵と云はれるものを向かふに廻してこそ試合する喜びもあると考へます。先輩及び諸友の注意と指摘された缺點を身にしめて微力淺才の私如きが覺悟を云々するのは潜越の至りですが私の覺悟は實に此の全力傾倒にの數語に盡きます先輩諸兄の築かれた過去の名譽を確保し更に進んでは尙一層の光輝を添へる事即ち先輩諸兄に對して良き後輩であると私は確信致します。

我等には覇權獲得の一路あるのみ思へば勝利の豫感が胸底に躍る何物をも貫かん大勇猛心が油然として湧くのであります。

私は中等學校をやつと巢離れしたばかりの若輩です。どうか今後とも御指導と御援の程を切望致します。

### 慶應義塾大學水泳部

### 島 本 信 美 (和歌商出)

第十二回早慶對抗水上競技大會は戦前の豫想を裏切り見事 28 對 11 の大差を以て宿敵早大を降する事が出來た。

此の勝利こそ吾々の先輩否、吾々の心に抱いてゐたものだつた。それを、小池主將以下吾々の手で成し遂げる事が出來たのだ。之以上の喜びはないだらうか。之は一に先輩及び小池主將以下のたゆまざる努力の結晶であると思つてゐる。

僕は 200 米自由型に出場した。此種目には昨年と本年の二度の出場だつた。昨年は自己の不注意から病に患り何事も出來なかつた。それ以來、今年こそは、十二回こそその意氣に燃えた。

此の種目は塾にとり不利な種目だつた、それは塾には短距離マンの居ない事だつた。それ故、責任を負つて立つたのだつたしかし試合当日は寺田、高橋

兩者初め、100 米自由型に出場した宮崎、高尾兩君の努力により既に大半は決して居た。こゝに氣持に若干のゆとりが出来てのんびりと試合を行ふ事が出来た。それ故幸に優勝する事が出来たのだつた。之は 28 對 11 共に番狂はせであつたと思つて居る。

僕は入賞する事が出来たのは最初で、此の機會により一層努力し勵みたいと思つて居ります。

#### 井上 秀雄 (城東中出)

初陣の感想をと云つても、どんなに書いていゝのか解りませんが、兎に角今度の勝利は先輩諸氏の熱心な御指導と、小池主將以下全部員のたゆまざる努力の賜であると確信します。

あのつらかつた川崎の合宿が今になつてつくづく思ひ出されます。あの辛かつた練習が今此所に實を結んだかと思へば嬉しくてたまりません。

然し、僕も初陣でこんなにハリ切つて居たのに、これだけのタイムが出なかつたのかと思ふと残念でもあり、又先輩諸氏の御努力に對して申譯無いと思つて居ます。この上は全力をつくして練習するのみです。12年目の勝利の感激を胸に秘めて今後大いにガンバります。

#### 片上 崇 (誠之館中出)

懐しき網町のプールとお別れして川崎の合宿に移り、苦しい 20 日を過して一同張り切つて試合にのぞみました。戦前の豫想を破つて堂々快勝した。

先輩は勿論主將小池さんを始め部員の喜びは、書き上げる事は出来ませんです。

自分は初舞臺なので少し上り氣味でしたがベストを盡して頑張りました、本當に夢中でした、相手が誰やら何コースやら全然分かりませんでした。タイムは僕のベストでした本當に其の時は嬉しかつたです。然し今になつて考へてみるに強敵早大を破つたのも川崎に於ての不斷の努力のおかげだと思ひます。本當に川崎では小池さんを始め一身同體の如く苦樂を共にして練習しました。「苦あれば樂あり!!」と云ふ語を深く深く感じました。

今後は益々頑張つて「苦あれば樂あり」と云ふ語をツモトとしてうんとうんと頑張ります。

#### 中澤 脩 (灘中出)

大學豫科に入學して最初の試合が此の早慶戦だつた。僕等は合宿練習をして試合にそなへた、その中には色々な種類の苦しいことが澤山あつた、が然し來るべき試合に對して一生懸命頑張つた、中學時代直そうと思つて苦心しても少しも直らなかつた 4 ビートから 6 ビートにすることも終に直すことが出来た張切つて試合にのぞんだ、然しその結果はあまりにもみじめであつた、中學時代の記録にも及ばなかつた。あんなに練習してもこんなか、自分の微力をなげくばかりだつた、自分の best が出れば 12 年目に初めて勝つたこの試合に自分の心は一層光輝を有したであらう。勝つて嬉しいはずのこの試合に一抹の寂しさが感ぜられて先輩諸氏に對して申し譯けがない。永い合宿、苦しかつた合宿、そして楽しかつた合宿の後に得たこのみじめな結果、しかも慶應に大切なる試合に少しも働けなかつた、僕は原因を深く考へた、何故練習の時の記録でも出せなかつた。

今後の頑張りによつてこの不成績を取りかへせるならば取りかへさう、今後力一杯の力泳あるばかりだ。

#### 渡邊 龍治 (沼津商出)

別に感想と云つても急には出て來ませんが當日の僕の動作と云ふかさう思つた所のことを書いて見ます。

之れと云つて何にも無いと思つた此の試合が中等校の對抗競技と異り外のどの大會よりも皆が張り切つてゐるのには少からずびつくりしました。いざ當日になつて見ますといままでほとんど経験した事のない動搖がありました。皆良く云はれる所の上つたわけです。

でも自分が 400 米に出て 200 米あたりで當校の寺田さんと高橋さんが出てゐるのには喜びました。

之は良いと思ひ急に氣を良くし牧野さんと杉浦さんについて行こうと思つて精一杯張切つたですがつひに遠く及ぶ所ではなかつたです。初めての年に初めて常勝の早稲田に勝つた事は何よりも喜ばしう御座いました。

((到着順による))

# 聯 盟 議 事 錄

常務理事會 6月8日 於事務所

1. 第一次オリンピック候補銓衡方針につき、協議し詳細は次回決定の事
2. 名古屋水上競技聯盟成立により、名古屋體育協會より加盟代表權讓渡許可願ひあり、協議の結果新團體よりの代表權讓受申請書、並に聯盟規約の提出を待ち、次回の理事會に於て決定する事

常務理事會 6月22日 於事務所

報告事項

1. 水球コーチ、フロインド氏招聘經費に關する報告あり(大橋名譽會計)
2. 團體長距離競泳全國大會の準備狀況報告(小林高志氏)
3. 指導者講習會並に指導者檢定試験に關する準備報告(松澤一鶴氏)
4. 日獨伊三都通信對抗競技會に關する報告(磯野百男氏)

5. オリンピック組織委員會關係の報告(松澤一鶴氏)
6. 體育選手強化委員會に關する(強化費補助)報告(野村憲夫氏)

協議事項

1. 日本女子中等大會の收支の全ては、主管團體たる名古屋水聯に一任する事
1. 日本選手權大會の際のオリンピック第一次候補者の銓衡方針は精銳主義を採用し、合宿乃至合同練習の際は適宜クラス制度を併用すること
1. 金澤壽吉氏を建設測定委員に委嘱する件、同委員會に話さる事
1. 8月下旬の中等飛込選手の合同練習計畫は、飛込委員會に於て、具體的に研究の上、又相談する事
1. 計時用時計貸出規定を作る建設測定委員會に一任する事

# 聯 盟 日 誌

5月26日	女子部委員會	事務所	9日	學生聯盟飛込競技委員會	事務所
	競泳池公認委員會	事務所	10日	競泳池公認委員會	事務所
31日	學生聯盟水球常務委員會	事務所		水泳誌 56號發行ス(各地發送)	
6月3日	指導普及委員會	事務所	15日	飛込競技委員會	事務所
	競泳池公認委員會	事務所	17日	競泳池公認委員會	事務所
6日	學生聯盟實行委員會	事務所	18日	水泳指導研究會員の初心者指導に關する意見發表	事務所
	" 登録管理委員會	事務所		小學校委員會	事務所
	水泳年鑑やうやく發行の運びとなる		22日	常務理事會	事務所
7日	指導普及委員會	事務所	24日	競泳池公認委員會	事務所
8日	常務理事會	事務所			

## 募 集

1. 各地加盟團體並一般愛讀者通信  
狀況、計畫、寫真、面白い話など
2. 競泳、飛込、水球、水泳一般に關する質問疑問。

〆切 7月25日

N. S. R 編輯部

# 編 輯 後 記

先づ第一に本號へ御寄稿下さつた方々及び寫眞を御提供下さつた各社へ厚く御禮申し上げます。

笛吹けども人踊らず、まゝならぬまゝに面白いプランも半ば立消えの態で五十七號誌を諸兄姉の許へ送ることにします。約束の期日よりずつと遅れて申譯なく努力を今後に御誓ひする事によつて御海容をお願いする次第。

★

編輯しながら一體編輯方針如何と云ふ點で一寸立止り振返つてみたが結局一定の方針、型なし強ひて付ければ無目的々目的と云ふか一定した型にとらはれず、N・S・Rの大きい目的と動きの中で、自由にのびのびとあれを試み、これを試み結局一つの立派な理想、方針が生れてくるものであり、乃至は生れさせぬばならぬと痛感してゐます。故にそこへ到達するには編輯者の誤つた主觀に害されない所の正しき理論と實踐が當然に要請されるでせう、とは云へこの一編輯者の些細な努力乃至見解は讀者諸兄姉のより廣い見解とすぐれた御注意御指導を得て始めて理想を求める道に沿ふ事と思はれます。即ちそれによつて始めてパトスのものからロゴスのものへと整理加工されて行くでせう。N・S・Rの正しい意志と御注意に接する機會は充分あつても讀者諸兄姉のそれに接する機會とて殆どありません。前號で加盟團體通信欄と質疑欄を設けた事もかゝる意思のあらはれの一つでこんなものを核としてきつ

と何物かゞ生れてくると信じてゐます。まあそう云つた具合で皆様の遠慮のない御注意御希望に接する機會が多ければ多しだけ「水泳」誌の使命に重要性が附加される事と信じます。で宜しく御願ひする次第です。

★

新しきもの、古きもの、攻めるもの、守るものとそれらを廻つて早慶戦と三大學對抗戦を回顧してゐたら色々と考えさせられた即ち一つのチーム乃至は個人が、古いもの或は競争相手を打倒する迄は元氣潑刺と伸び上る者の意氣をみせて進歩的であるが、一旦そこへ達すると、自己を守り、霸權を守るために保守的になつてゆく、内に對しても將又外に對しても精神的は勿論肉體的に受身の立場に於て自己をみるであらう、どうもこの保守的な受身の精神が霸權移動の最初の兆候であるらしい。この大事な點で積極的と云ふ言葉の有するあらゆる意味を改めて總動員する必要があると思はれる。即ち常に新しく、傳統を誇つて傳統を築く潑刺たる前進の姿をこゝでみたい。

★

この暑い日にごてごてと理窟ばることはもう止さう。思へば大學二年の夏を迎へてゐるが、柄にもなく大きすぎるものをつかまへて而もその取扱ひに窮してゐる態たらくです。あれから既に一年が過ぎた。インクで赤くなつた指先をみせて、向かふの机で元氣にリードしてゐた、戦線の、我が友藤原編輯委員長の風貌が、時間と距離を無視して、眼前に展開し、私は今感慨無量の裡にこのペンを擱いてゐる。

(横尾 清吾)

日本水上競技  
聯盟機關雜誌

水 泳

第 5 7 號

昭和十三年七月十五日納本  
昭和十三年七月十八日發行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 横 尾 清 吾

印刷人 米 田 眞 二

印刷所 改 洋 社  
東京市豊島區巢鴨1丁目3番地

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581  
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所  
振替口座東京三九九一九番

高級ワキシャツ

純絹ネクタイ

レーンコート

流行婦人服地各種



カズボウ 紳士洋品

東京・銀座三丁目

鐘紡サービス・ステーション

電話京橋(56)7181・7182.